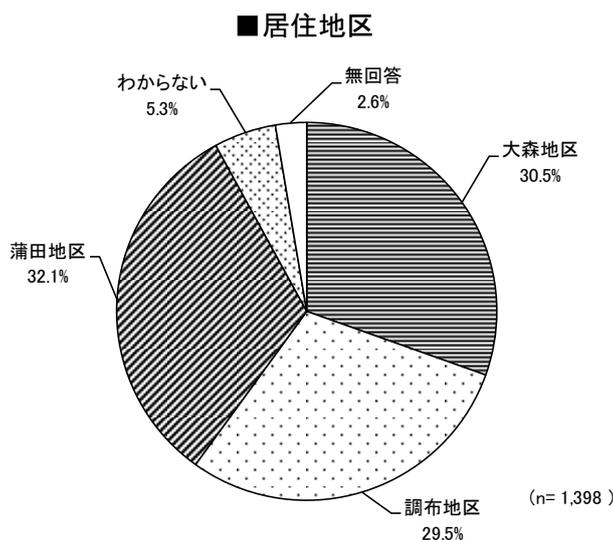


2. 小学校児童の保護者

(1) 住まいの地域について

問1 あなたのお住まいの地域（特別出張所）はどこですか。わからない場合は、町名をご記入ください。

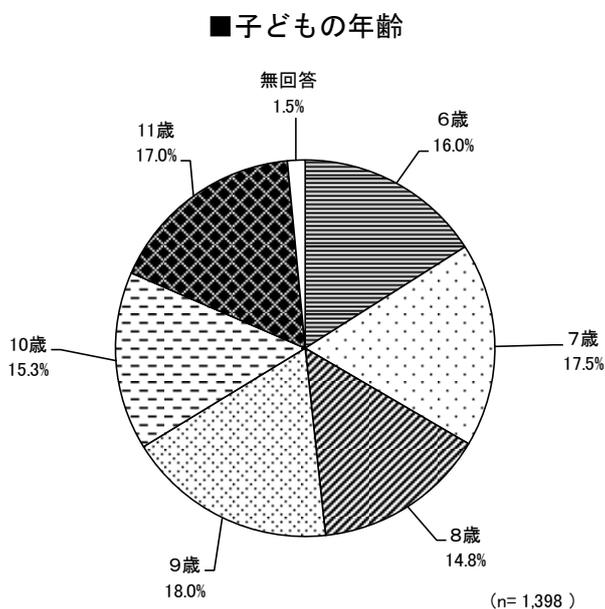
「大森地区」(30.5%)、「調布地区」(29.5%)、「蒲田地区」(32.1%)となっています。



(2) お子さんと家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

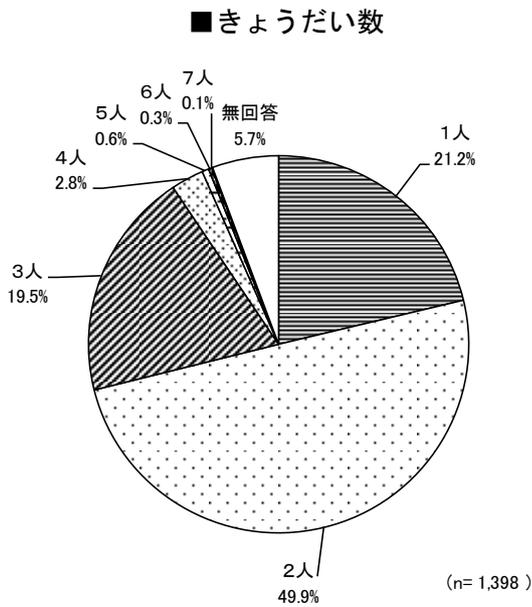
「6歳」(16.0%)、「7歳」(17.5%)、「8歳」(14.8%)、「9歳」(18.0%)、「10歳」(15.3%)、「11歳」(17.0%)となっています。



問3 宛名のお子さんの兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

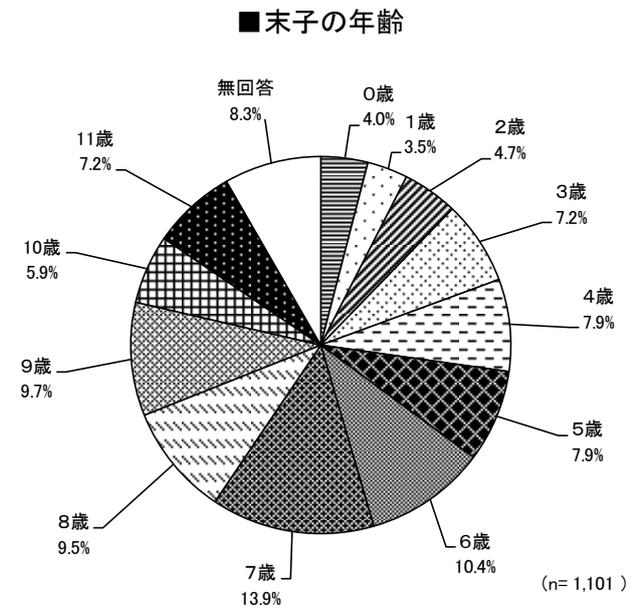
① きょうだい数

「2人」(49.9%)が最も多く、「1人」(21.2%)、「3人」(19.5%)、と続きます。



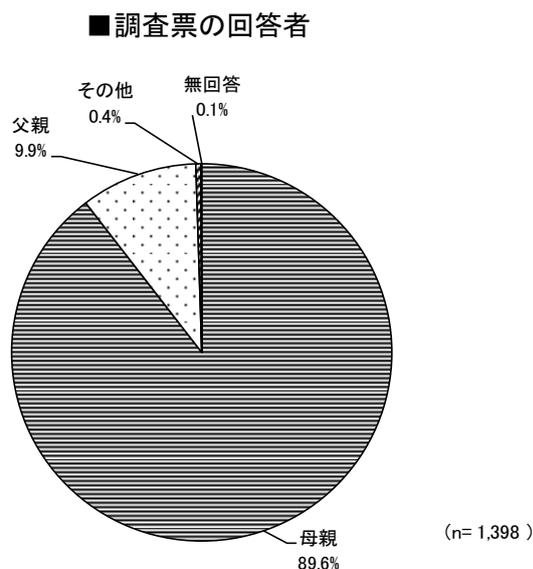
②末子の年齢

「7歳」(13.9%)が最も多く、「6歳」(10.4%)、「9歳」(9.7%)と続きます。



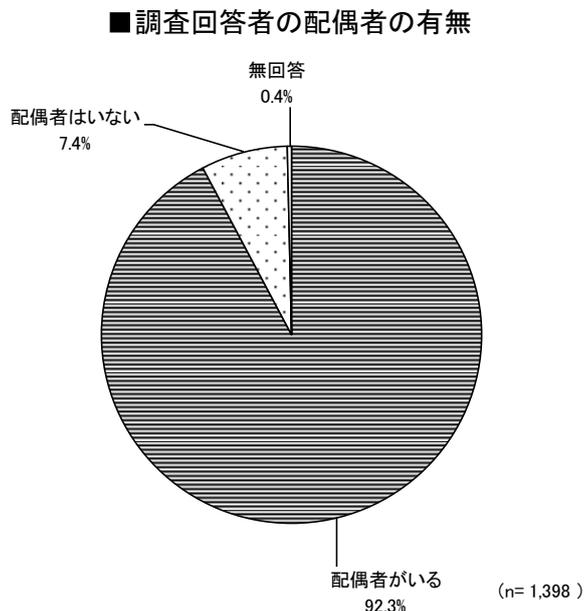
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」(89.6%)、「父親」(9.9%)となっています。



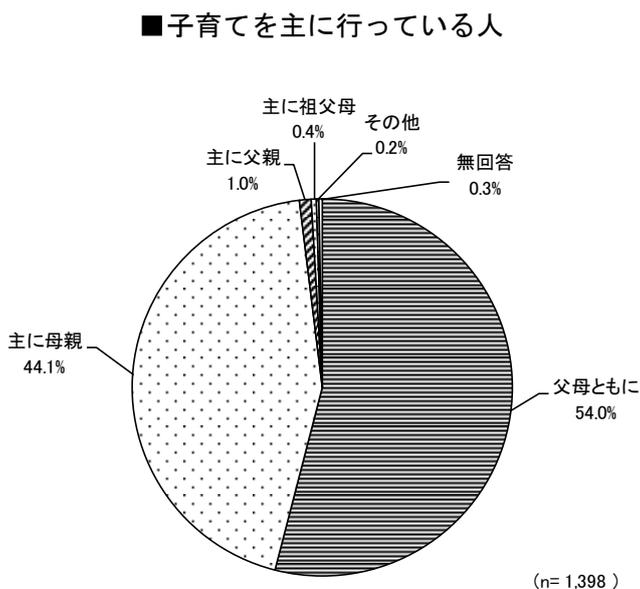
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」(92.3%)、「配偶者はいない」(7.4%)となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「父母ともに」(54.0%)が最も多く、「主に母親」(44.1%)、「主に父親」(1.0%)、「主に祖父母」(0.4%)と続きます。

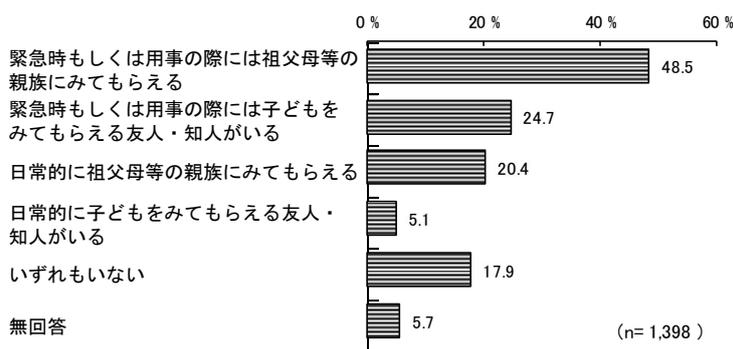


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(48.5%)が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(24.7%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(20.4%)と続きます。また、「いずれもない」(17.9%)が約2割となっており、約5人に1人が日ごろお子さんをみてもらえる親族・知人がいないことが伺えます。

■子どもの面倒をみてくれる親族・知人の有無（複数回答）



【経年比較】

前回調査と同じく、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が最も多くなっています。

(単位: %)

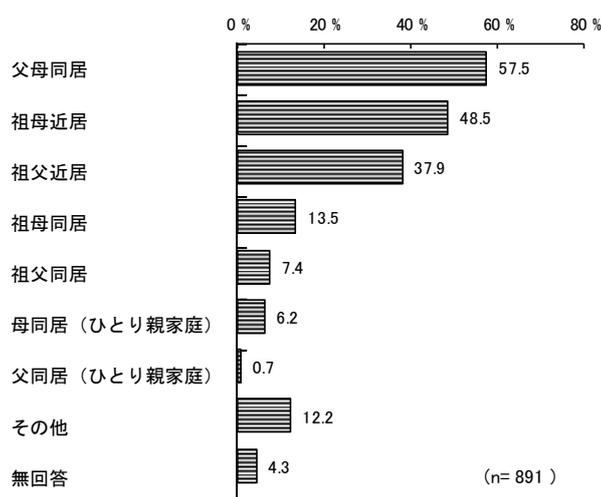
	有効回答者数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
今回 (H30)	1,398	20.4	48.5	5.1	24.7	17.9	5.7
前回 (H25)	1,155	23.0	45.0	4.8	25.3	15.7	5.8

【問7で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方】

問7-1 宛名のお子さんとの同居・近居（およそ30分以内で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。

「父母同居」（57.5%）が最も多く、「祖母近居」（48.5%）、「祖父近居」（37.9%）と続きます。

■同居・近居の状況（複数回答）

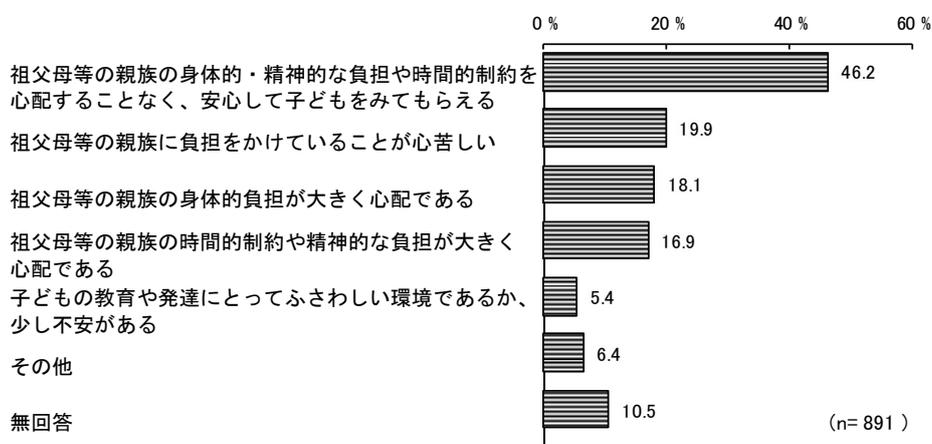


【問7で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方】

問7-2 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（46.2%）が最も多く、「祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」（19.9%）、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」（18.1%）と続きます。

■祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について（複数回答）

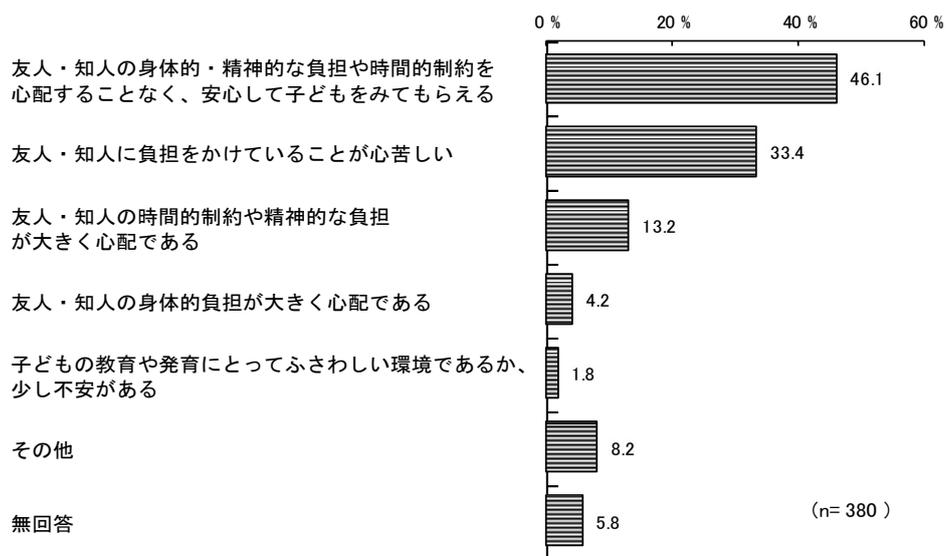


【問7で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方】

問7-3 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(46.1%)が最も多く、「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(33.4%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(13.2%)と続きます。

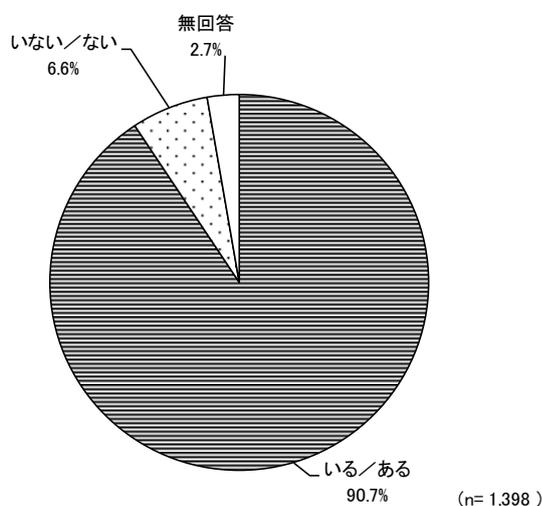
■友人・知人に子どもをみてもらっている状況について（複数回答）



問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

「いる／ある」(90.7%)、「いない／ない」(6.6%)となっています。

■相談できる人・場所の有無

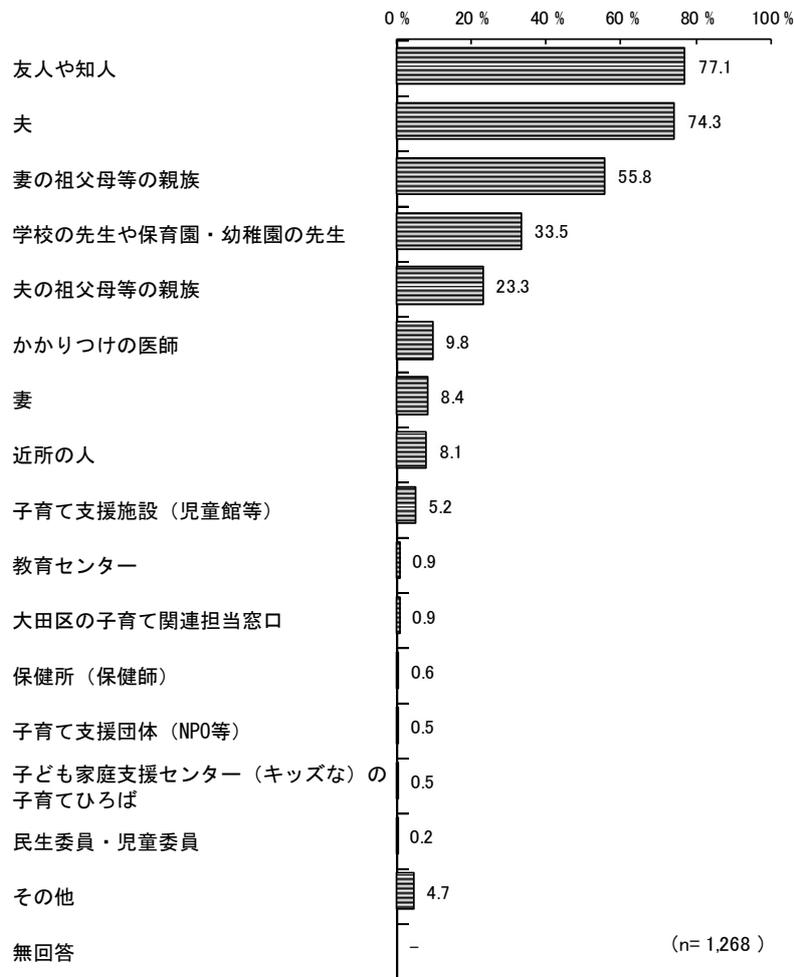


【問8で「1. いる／ある」に○をつけた方】

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

「友人や知人」（77.1%）が最も多く、「夫」（74.3%）、「妻の祖父母等の親族」（55.8%）、「学校の先生や保育園・幼稚園の先生」（33.5%）、「夫の祖父母等の親族」（23.3%）と続きます。

■気軽にできる相談先（複数回答）



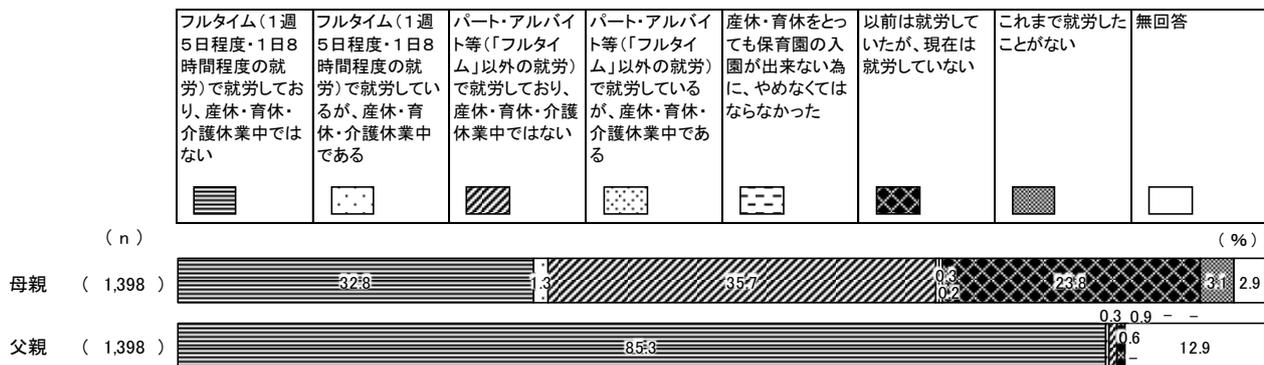
(4) 保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（35.7%）が最も多く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（32.8%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（23.8%）と続きます。就労している方（休業中含む）は合計70.1%となっています。

父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」（85.3%）が最も多く、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」（0.9%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（0.6%）と続きます。

■ 保護者の就労状況



【母親：経年比較】

前回調査と同じく、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっていますが、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が前回調査と比べて多くなっています。

(単位：%)

	有効回答者数	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	産休・育休をとっても保育園の入園が出来ない為に、やめなくてはならなかった	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
今回(H30)	1,398	32.8	1.3	35.7	0.3	0.2	23.8	3.1	2.9
前回(H25)	1,150	26.1	1.0	35.9	0.3	-	29.5	4.6	2.7

【母親：就学前児童の保護者との比較】

就学前児童の保護者は、フルタイムで就労している方（休業中含む）が多く47.5%となっていますが、小学生の保護者はパート・アルバイト等で就労している方（休業中含む）が多く36.0%となっており、子どもの年齢によって就労状況が異なることがうかがえます。

(単位：%)

	有効回答者数	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	産休・育休をとつても保育園の入園が出来ない為に、やめなくてはならなかった	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
小学生の保護者	1,398	32.8	1.3	35.7	0.3	0.2	23.8	3.1	2.9
就学前児童の保護者	1,234	30.8	16.7	11.9	1.9	1.0	35.1	1.8	0.9

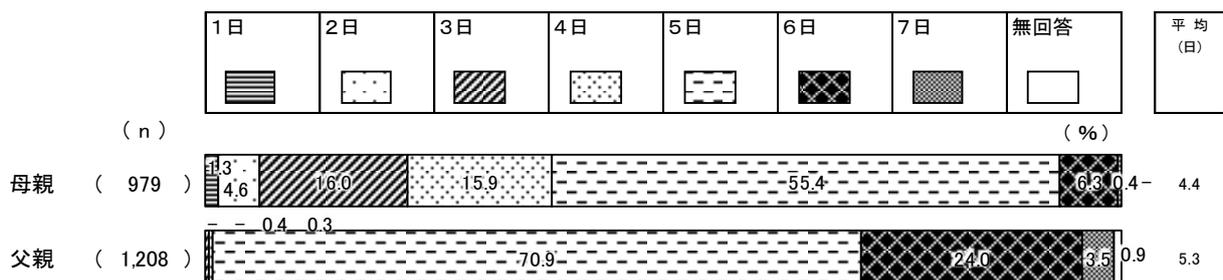
【就労している方】

① 1週当たりの就労日数

母親は「5日」(55.4%)が最も多く、「3日」(16.0%)、「4日」(15.9%)と続きます。1週当たりの平均就労日数は4.4日となっています。

父親は「5日」(70.9%)が最も多く、「6日」(24.0%)、「7日」(3.5%)と続きます。1週あたりの平均就労日数は5.3日となっています。

■ 1週当たりの就労日数

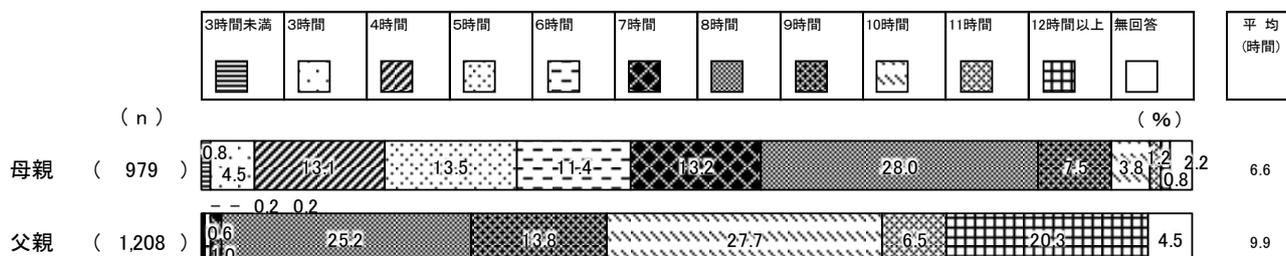


② 1日当たりの就労時間

母親は「8時間」(28.0%)が最も多く、「5時間」(13.5%)、「7時間」(13.2%)、「4時間」(13.1%)と続きます。1日当たりの平均就労時間は6.6時間となっています。

父親は「10時間」(27.7%)が最も多く、「8時間」(25.2%)、「12時間以上」(20.3%)、「9時間」(13.8%)と続きます。1日当たりの平均就労時間は9.9時間となっています。

■ 1日当たりの就労時間

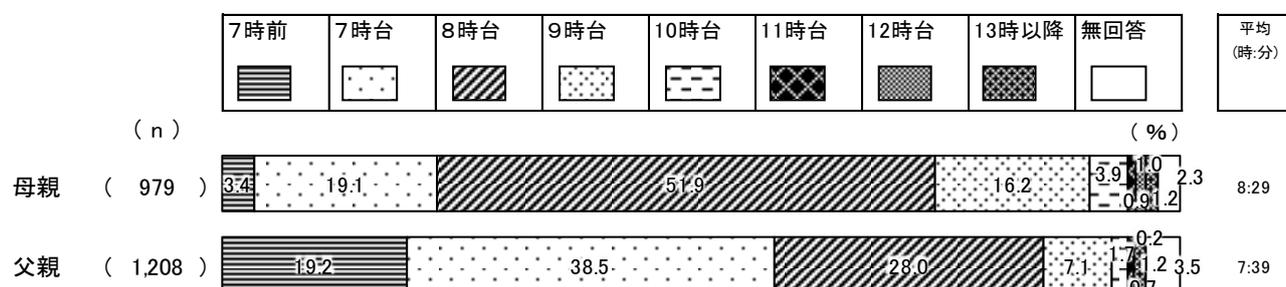


③ 家を出る時間

母親は「8時台」(51.9%)が最も多く、「7時台」(19.1%)、「9時台」(16.2%)と続きます。平均時刻は8時29分となっています。

父親は「7時台」(38.5%)が最も多く、「8時台」(28.0%)、「7時前」(19.2%)と続きます。平均時刻は7時39分となっています。

■ 家を出る時間

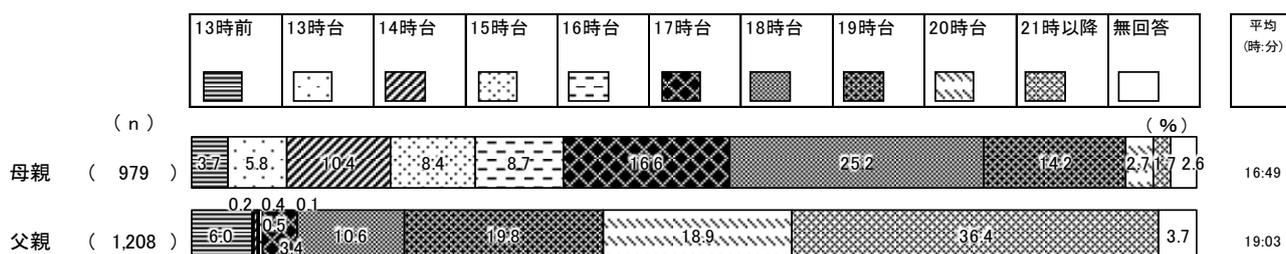


④ 帰宅時間

母親は「18時台」(25.2%)が最も多く、「17時台」(16.6%)、「19時台」(14.2%)と続きます。平均時刻は16時49分となっています。

父親は「21時以降」(36.4%)が最も多く、「19時台」(19.8%)、「20時台」(18.9%)と続きます。平均時刻は19時03分となっています。

■ 帰宅時間



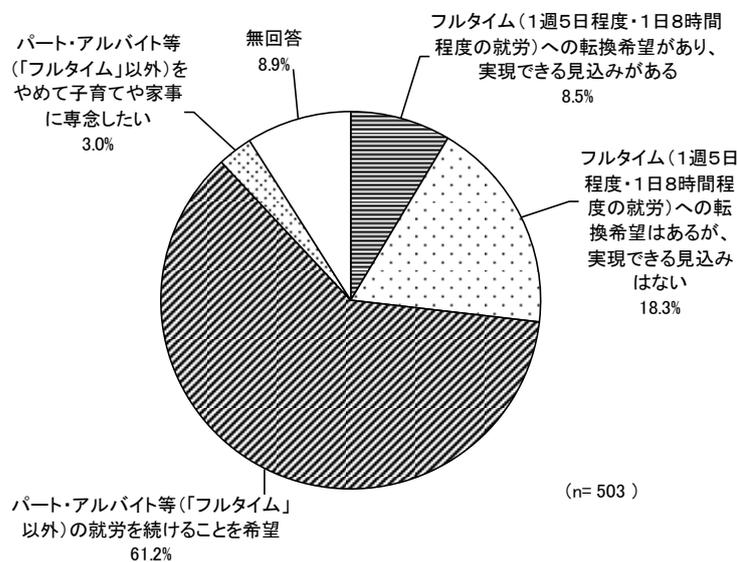
【パート・アルバイト等で就労している方】

問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」（61.2%）が最も多く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（18.3%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（8.5%）と続きます。

父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」（ともに5件）が最も多く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」1件となっています。

■フルタイムへの転換希望：母親



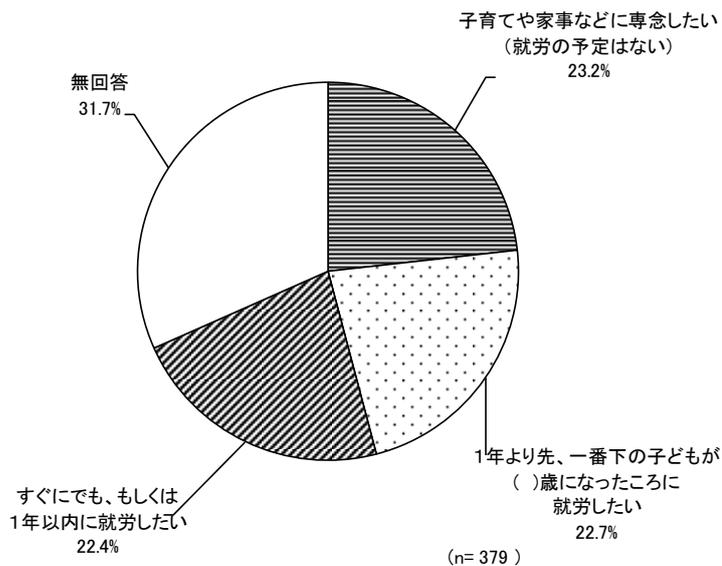
【就労していない方】

問 11 就労したいという希望はありますか。

母親は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(23.2%)が最も多く、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」(22.7%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(22.4%)と続きます。

父親は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が7件、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が1件となっています。

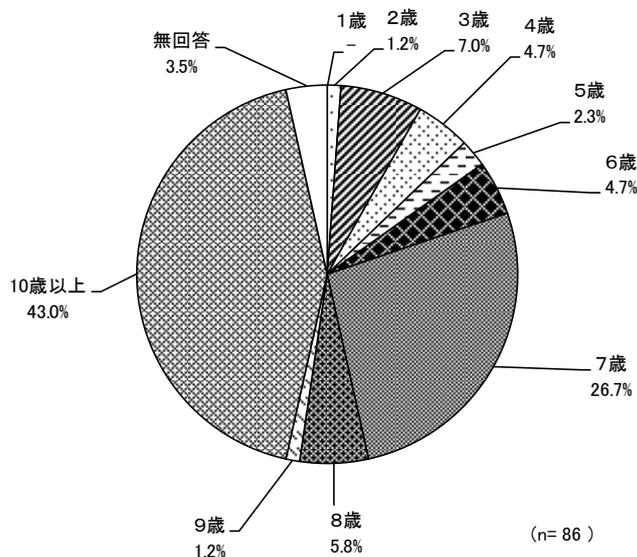
■就労希望：母親



①子どもの年齢（1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい）

母親は「10歳以上」(43.0%)が最も多く、「7歳」(26.7%)、「3歳」(7.0%)と続きます。父親は「7歳」が1件となっています

■子どもの年齢：母親

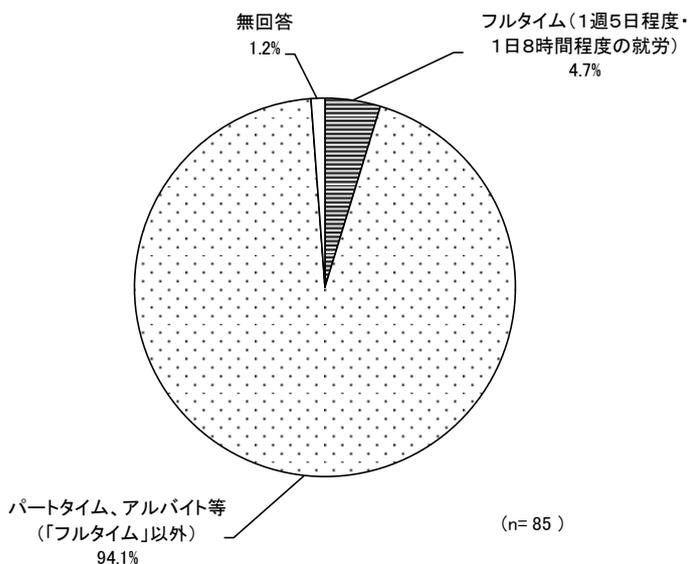


②希望する就労形態（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」（94.1%）が最も多く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（4.7%）となっています。

父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が4件、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」2件となっています。

■希望する就労形態：母親



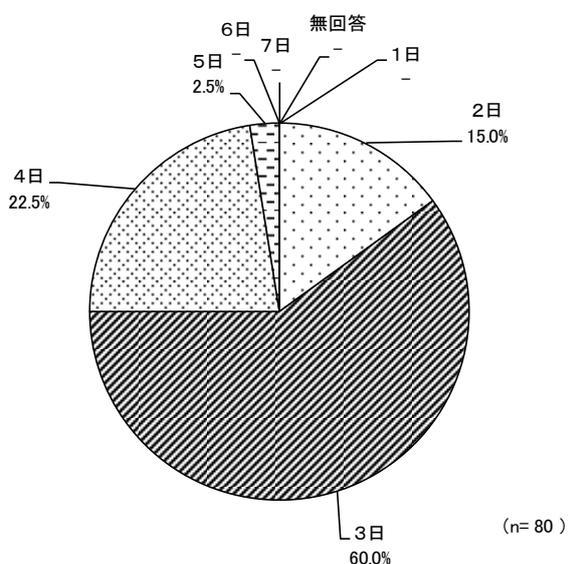
ア 1週当たり就労日数：母親

「3日」（60.0%）が最も多く、「4日」（22.5%）、「2日」（15.0%）と続きます。

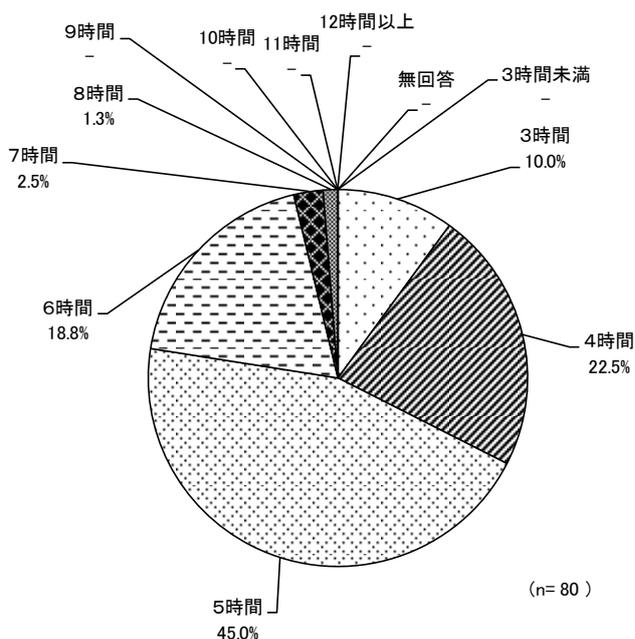
イ 1日当たり就労時間：母親

「5時間」（45.0%）が最も多く、「4時間」（22.5%）、「6時間」（18.8%）と続きます。

■ 1週当たり就労日数：母親



■ 1日当たり就労時間：母親

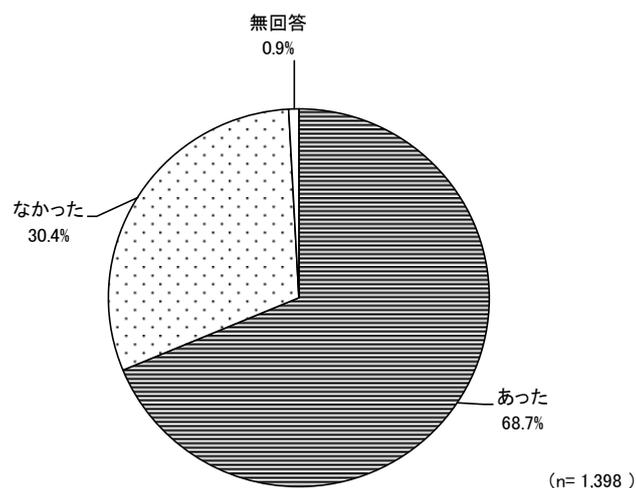


(5) 病気の際の対応について

問 12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」(68.7%)、「なかった」(30.4%)となっています。

■病気やケガで学校を休まなければならなかったこと



【経年比較】

前回調査と比べて、「あった」が約15ポイント多くなっています。

(単位: %)

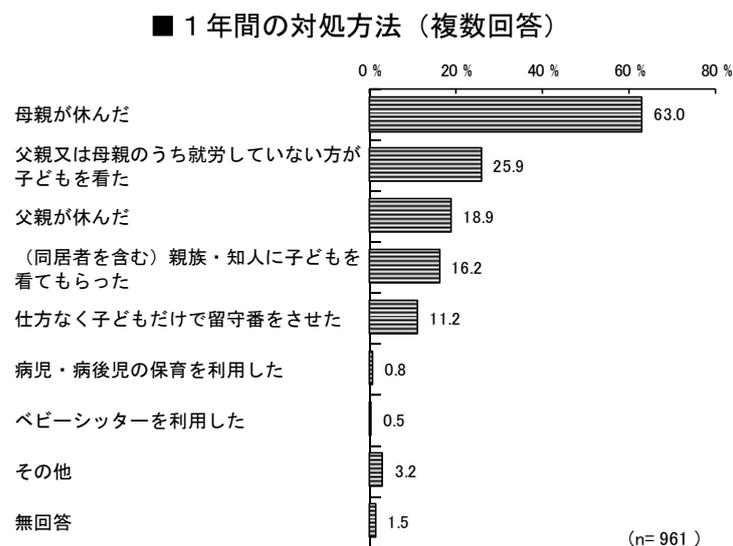
	有効回答者数	あった	なかった	無回答
今回(H30)	1,398	68.7	30.4	0.9
前回(H25)	1,155	51.7	35.7	12.6

【問 12 で「1. あった」に○をつけた方】

問 12-1 この 1 年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

① 1 年間の対処方法

「母親が休んだ」(63.0%)が最も多く、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」(25.9%)、「父親が休んだ」(18.9%)と続きます。

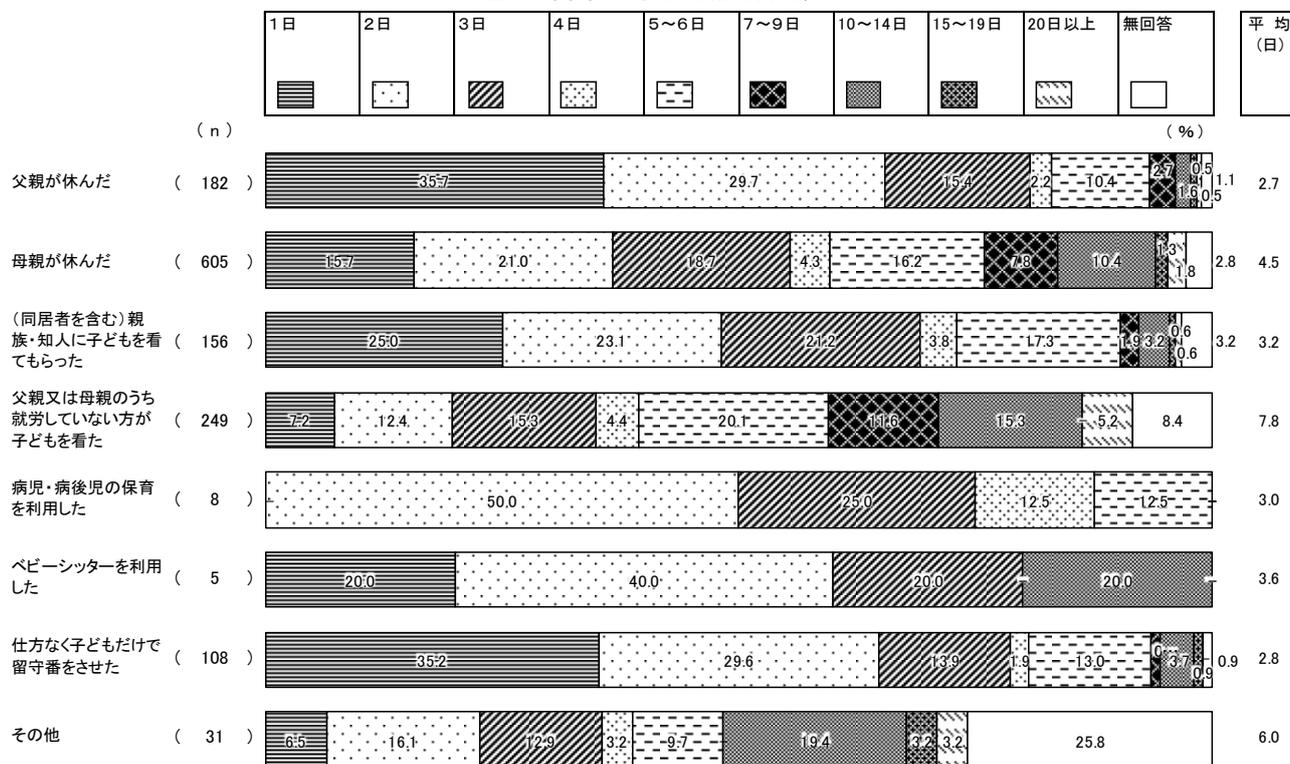


② 1年間の対処方法別日数

“父親が休んだ”は、「1日」(35.7%)が最も多く、「2日」(29.7%)、「3日」(15.4%)と続いており、平均2.7日となっています。

“母親が休んだ”は、「2日」(21.0%)が最も多く、「3日」(18.7%)、「5～6日」(16.2%)続いており、平均4.5日となっています。

■ 1年間の対処方法別日数

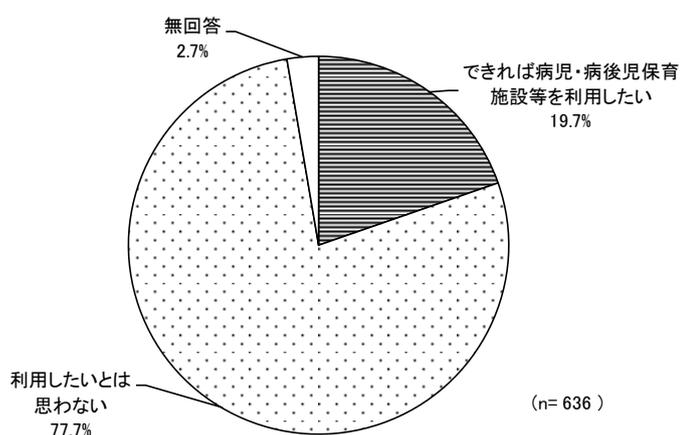


【問12-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」に○をつけた方】

問12-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(19.7%)、「利用したいとは思わない」(77.7%)となっています。

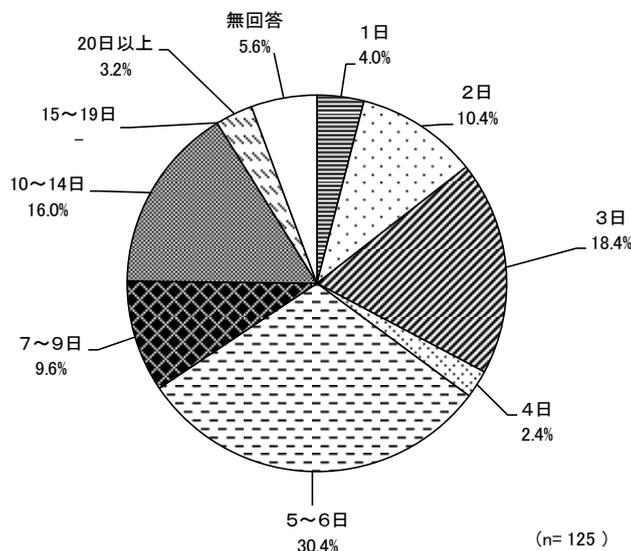
■ 病児・病後児保育施設等の利用希望



①利用希望年間日数

「5～6日」(30.4%)が最も多く、「3日」(18.4%)、「10～14日」(16.0%)、「2日」(10.4%)と続きます。

■利用希望年間日数

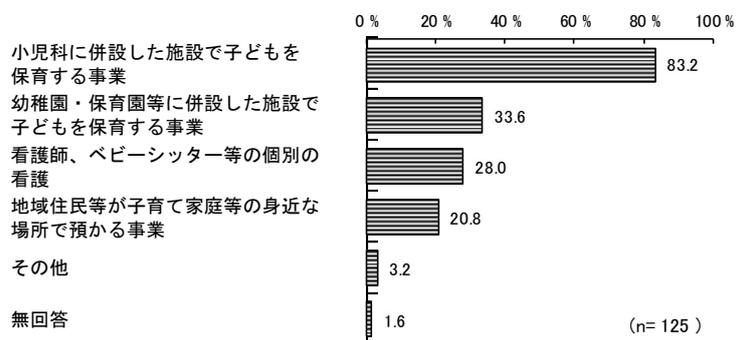


【問 12-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方】

問 12-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(83.2%)が最も多く、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」(33.6%)、「看護師、ベビーシッター等の個別の看護」(28.0%)と続きます。

■病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態（複数回答）

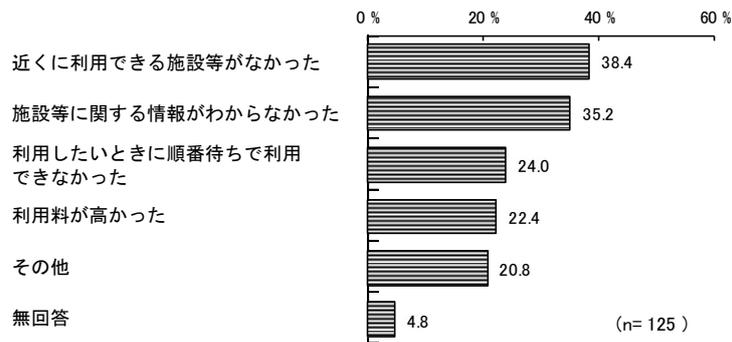


【問 12-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方】

問 12-4 病児・病後児保育施設等を利用したいとお考えであったのに、利用ができなかった理由は何ですか。

「近くに利用できる施設等がなかった」(38.4%)が最も多く、「施設等に関する情報がわからなかった」(35.2%)、「利用したいときに順番待ちで利用できなかった」(24.0%)と続きます。

■病児・病後児保育施設等が利用できなかった理由（複数回答）

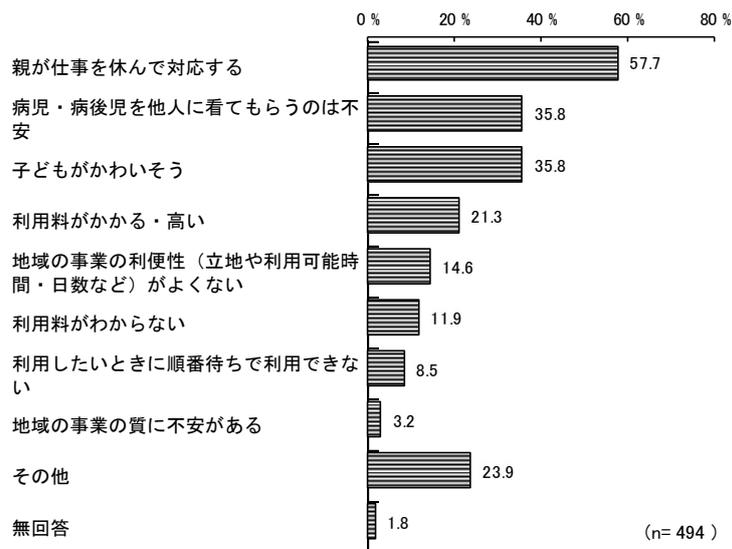


【問 12-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方】

問 12-5 そう思われる理由は何ですか。

「親が仕事を休んで対応する」(57.7%)が最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「子どもがかawaiiそう」(ともに 35.8%)、「利用料がかかる・高い」(21.3%)と続きます。

■病児・病後児保育施設等を利用したくない理由（複数回答）

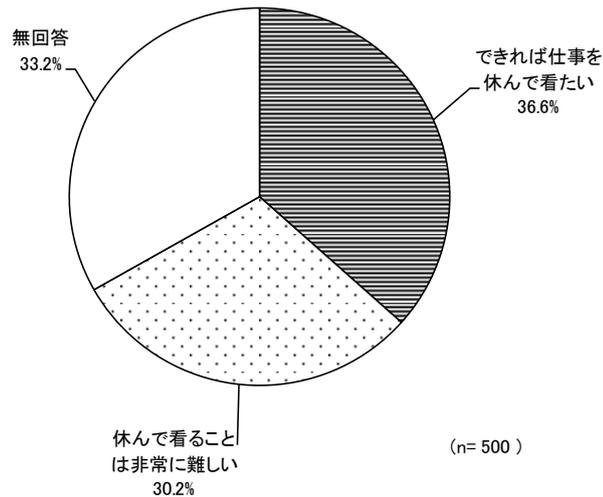


【問 12-1 で「3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」～「8. その他」に○をつけた方】

問 12-6 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

「できれば仕事を休んで看たい」(36.6%)、「休んで看することは非常に難しい」(30.2%)となっています。

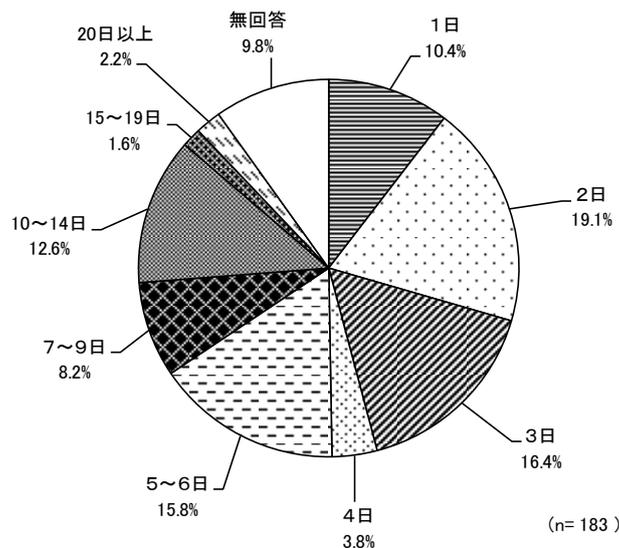
■ できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったこと



① 希望年間日数

「2日」(19.1%)が最も多く、「3日」(16.4%)、「5～6日」(15.8%)、「10～14日」(12.6%)と続きます。

■ 仕事を休んで看たい希望年間日数

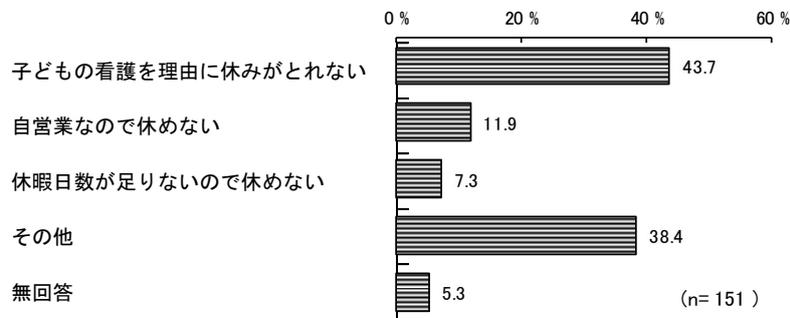


【問 12-6 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方】

問 12-7 そう思われる理由は何ですか。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」(43.7%)が最も多く、「自営業なので休めない」(11.9%)、「休曜日数が足りないので休めない」(7.3%)と続きます。

■休んで見ることは非常に難しいと思う理由



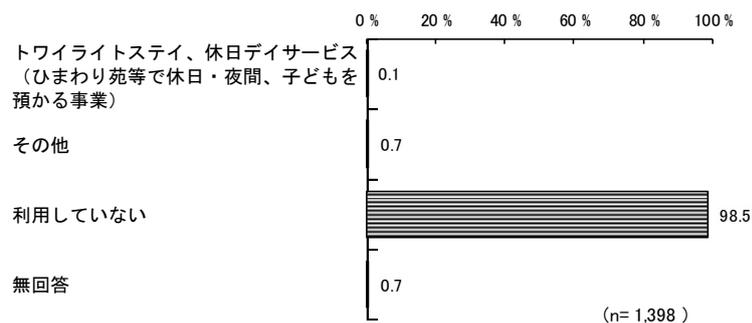
(6) 不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 13 宛名のお子さんについて、日中の定期的な学童保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用はありますか。

①利用している事業

「利用していない」(98.5%)が最も多くなっています。

■利用している事業（複数回答）



②利用している事業別年間日数

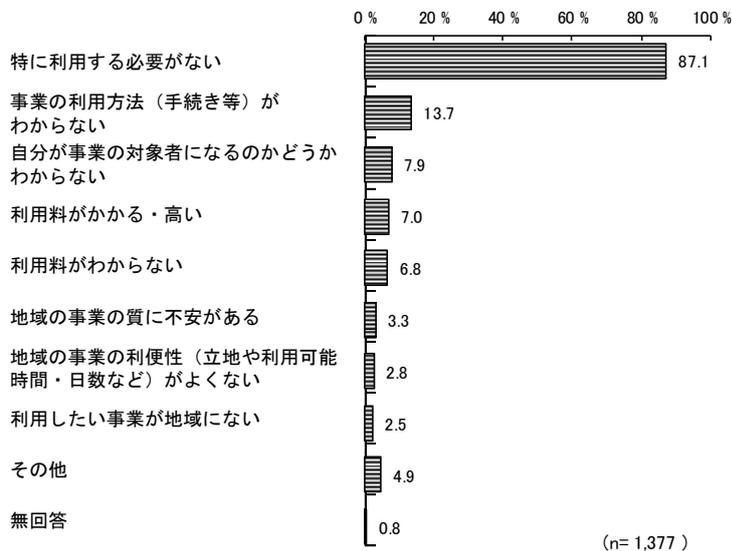
“トワイライトステイ、休日デイサービス (ひまわり苑等で休日・夜間、子どもを預かる事業)”は「2日」が1件となっています。また、“その他”は「20日以上」(4件)が最も多く、「2日」「3日」「10～14日」「15～19日」(それぞれ1件)と続きます(無回答2件)。

【問 13 で「3. 利用していない」に○をつけた方】

問 13-1 現在利用していない理由は何ですか。

「特に利用する必要がない」(87.1%)が最も多く、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(13.7%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(7.9%)と続きます。

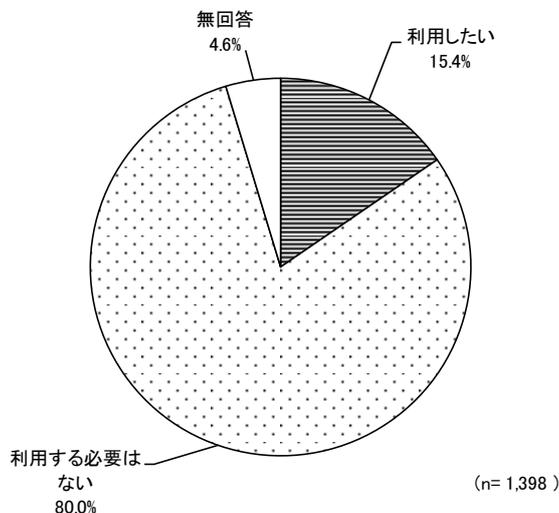
■利用していない理由（複数回答）



問 14 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 13 のような事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

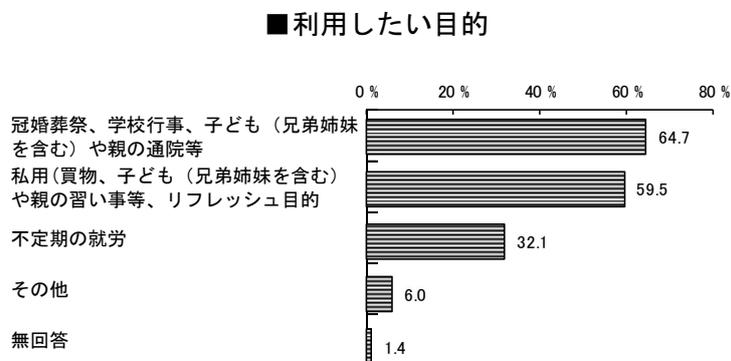
「利用したい」(15.4%)、「利用する必要はない」(80.0%)となっています。

■一時預かり等の利用の必要性



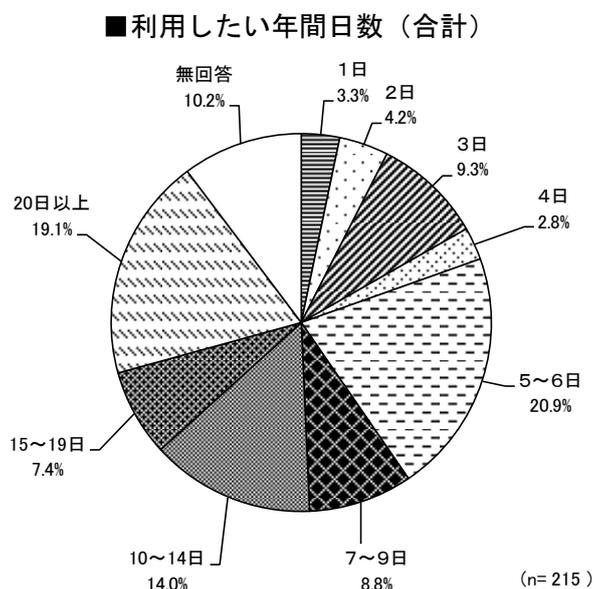
①利用したい目的

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（64.7%）が最も多く、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」（59.5%）、「不定期の就労」（32.1%）と続きます。



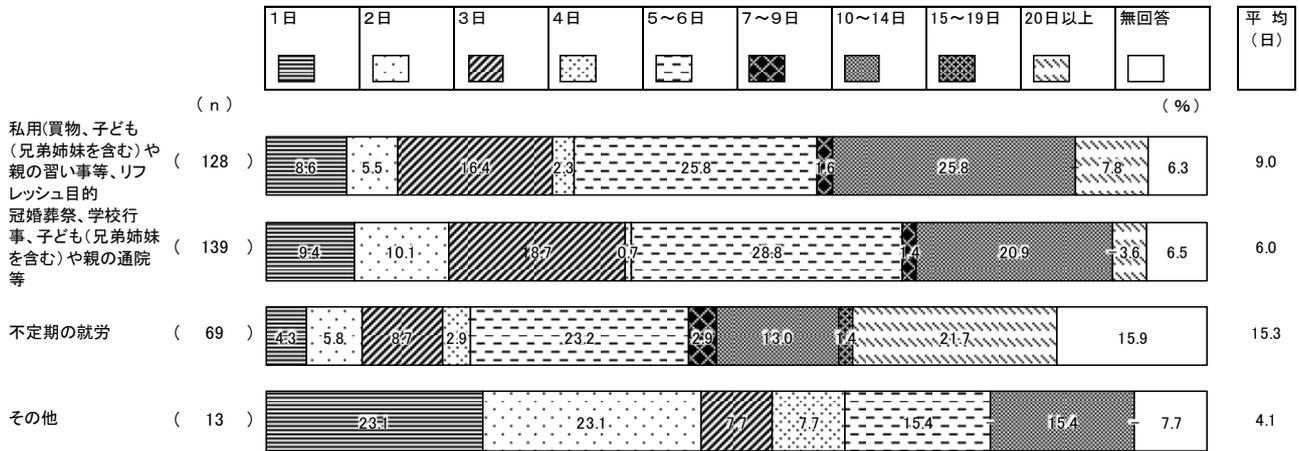
②利用したい年間日数

利用したい年間日数は「5～6日」（20.9%）が最も多く、「20日以上」（19.1%）、「10～14日」（14.0%）と続き、平均は14.5日となっています。



利用したい年間日数（目的別）をみると“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）”“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”“不定期の就労”は「5～6日」が最も多くなっています。

■利用したい年間日数（目的別）

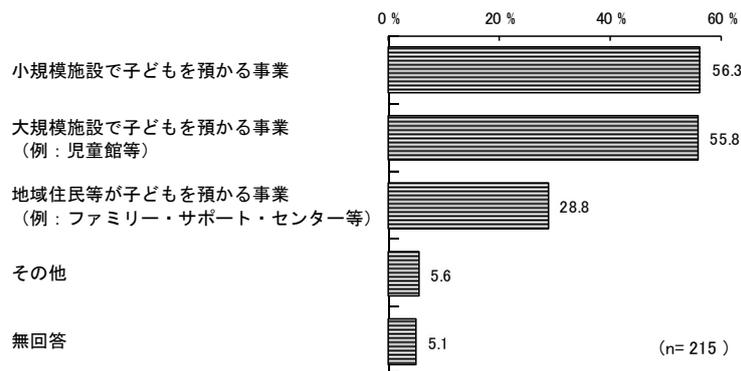


【問 14 で「1. 利用したい」に○をつけた方】

問 14-1 問 14 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

「小規模施設で子どもを預かる事業」(56.3%)が最も多く、「大規模施設で子どもを預かる事業（例：児童館等）」(55.8%)、「地域住民等が子どもを預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」(28.8%)と続きます。

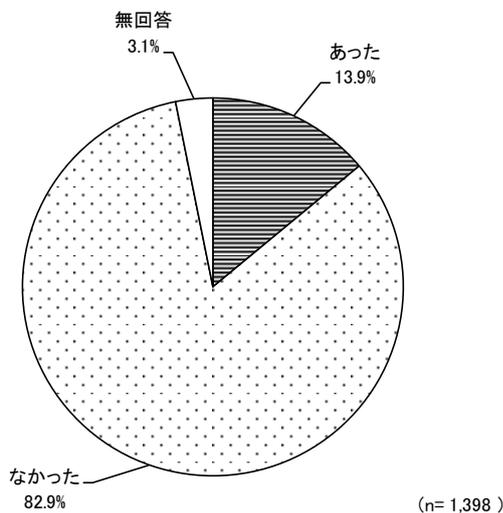
■望ましい事業形態（複数回答）



問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます。）

「あった」（13.9%）、「なかった」（82.9%）となっています。

■保護者の用事により、泊りがけで家族以外にみてもらったこと

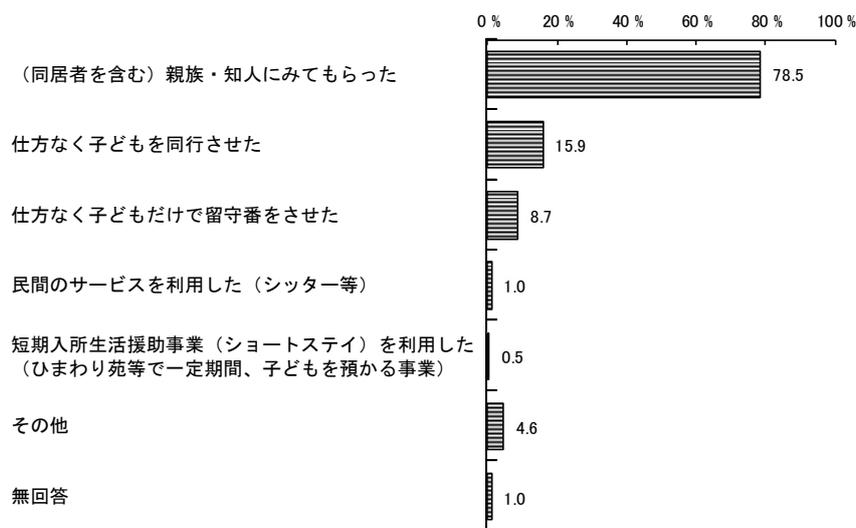


【問 15 で「1. あった」に○をつけた方】

① 1年間の対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(78.5%)が最も多く、「仕方なく子どもを同行させた」(15.9%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(8.7%)と続きます。

■ 1年間の対処方法（複数回答）

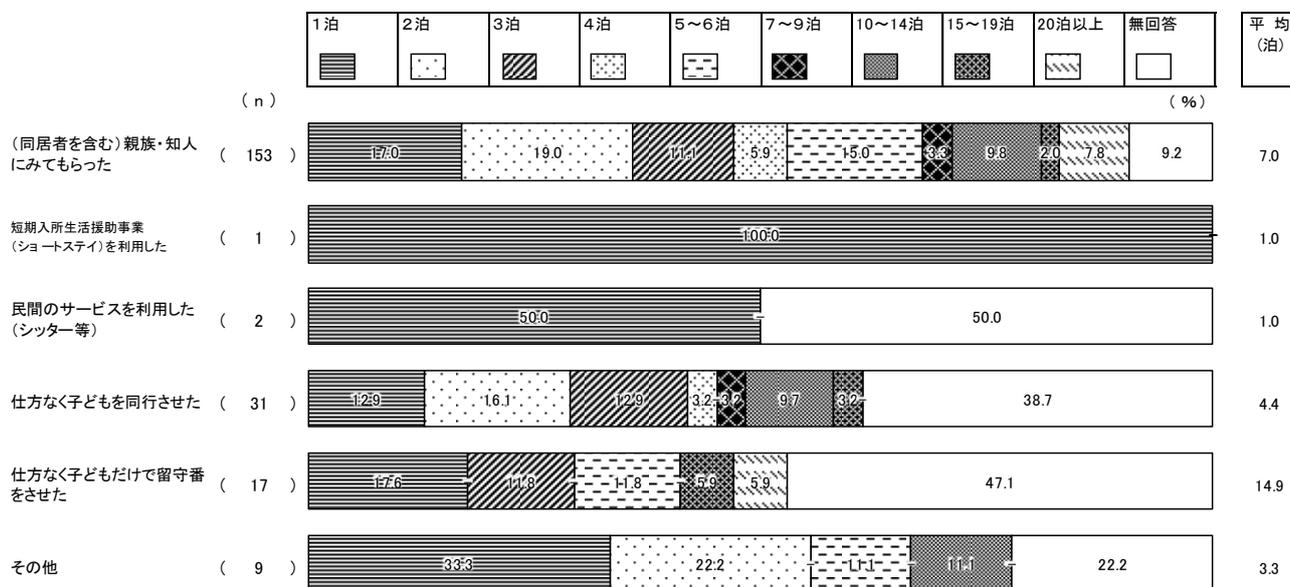


②対処方法別年間日数（泊）

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”は「2泊」（19.0%）が最も多く、「1泊」（17.0%）、「5～6泊」（15.0%）と続きます。

“仕方なく子どもを同行させた”は「2泊」（16.1%）が最も多く、「1泊」「3泊」（ともに12.9%）、「10～14泊」（9.7%）と続きます。

■ 対処方法別年間日数（泊）

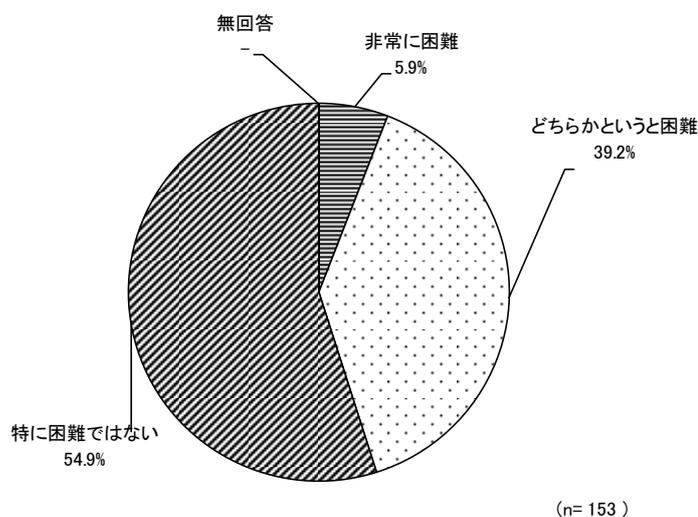


【問15で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方】

問15-1 その場合の困難度（頼む・預けることの大変さ等）はどの程度でしたか。

「特に困難ではない」（54.9%）が最も多く、「どちらかという困難」（39.2%）、「非常に困難」（5.9%）と続きます。

■ (同居者を含む)親族・知人にみてもらった際の困難度



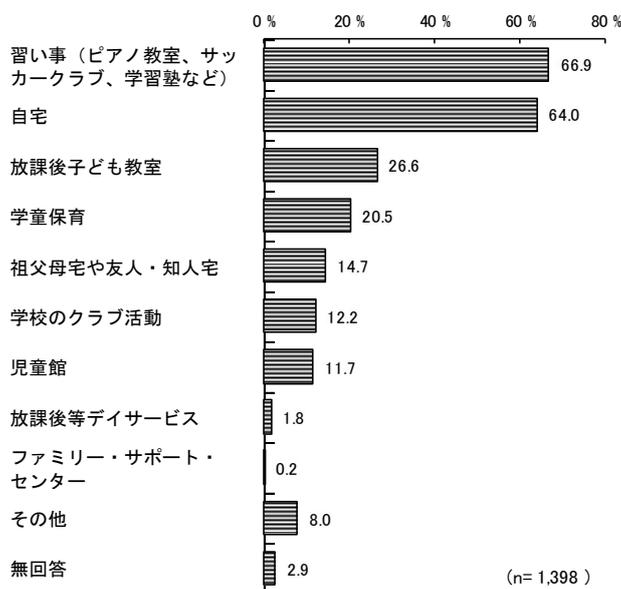
(7) 放課後の過ごし方について

問 16 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「5. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

① 過ごさせたい場所

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(66.9%)が最も多く、「自宅」(64.0%)、「放課後子ども教室」(26.6%)、「学童保育」(20.5%)と続きます。

■ 放課後過ごさせたい場所（複数回答）



【地区別】

すべての地区で「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が多くなっています。“調布地区”は他の地区と比べて「児童館」がやや少なくなっています。

(単位: %)

	有効回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	放課後子ども教室	学童保育	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	学校のクラブ活動	その他	無回答
全体	1,398	64.0	14.7	11.7	26.6	20.5	0.2	1.8	66.9	12.2	8.0	2.9
大森地区	452	63.9	16.6	14.4	24.1	20.1	0.2	2.0	70.1	10.8	9.7	2.7
調布地区	421	69.8	15.7	7.1	26.8	19.5	0.2	2.1	69.6	13.1	5.2	3.6
蒲田地区	488	59.8	12.1	13.5	29.3	21.5	0.2	1.4	62.3	12.9	8.8	2.3

【低学年・高学年別】

“低学年”は「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「高学年」は「自宅」が最も多くなっています。また、“低学年”は“高学年”と比べて「放課後子ども教室」「学童保育」が20ポイント以上多くなっています。

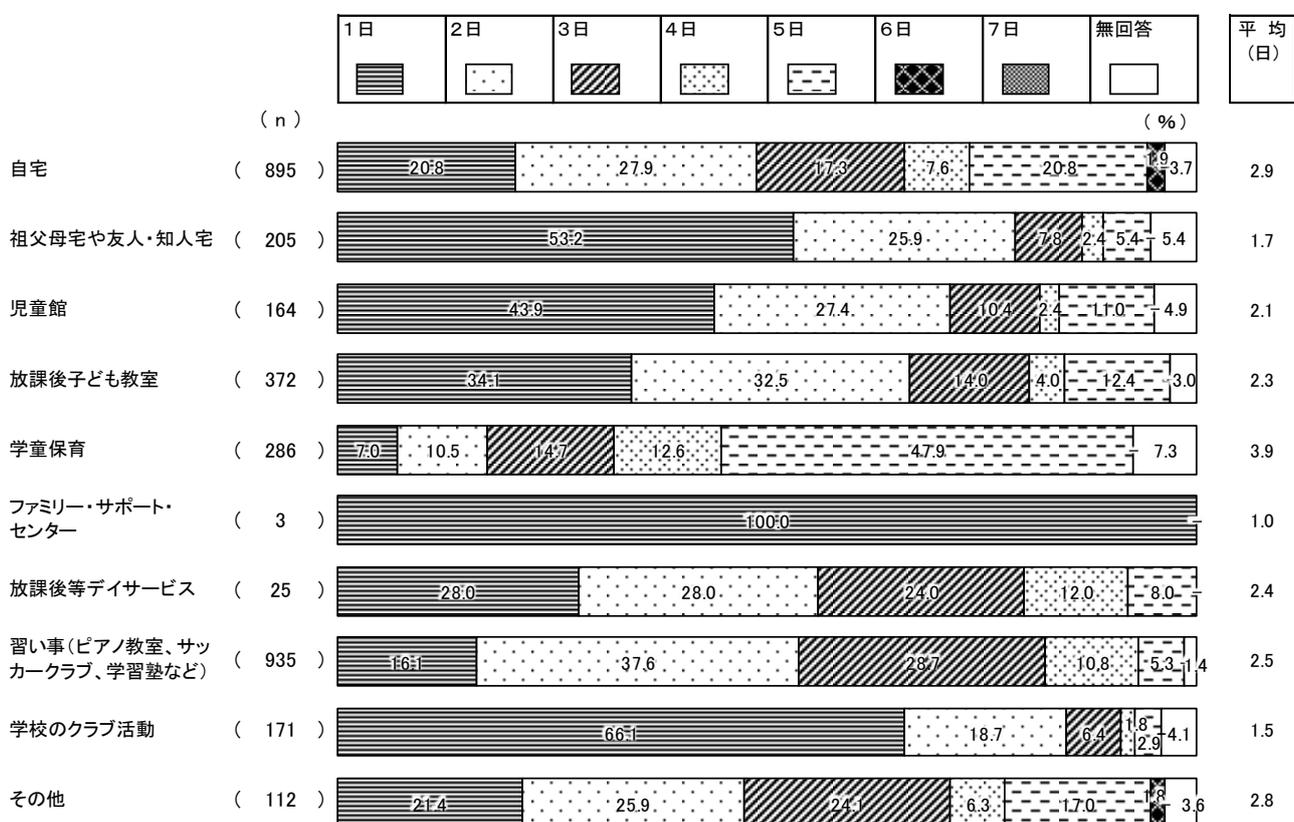
(単位:%)

	有効回答者数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	児童館	放課後子ども教室	学童保育	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	学校のクラブ活動	その他	無回答
全体	1,398	64.0	14.7	11.7	26.6	20.5	0.2	1.8	66.9	12.2	8.0	2.9
低学年	675	52.9	12.0	13.3	37.5	35.3	0.3	2.4	61.2	6.7	7.4	3.1
高学年	702	74.6	17.2	10.0	16.1	6.8	0.1	1.3	72.5	17.1	8.7	2.6

②過ごさせたい場所別週当たり日数

“自宅”“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”は「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」「放課後子ども教室」「ファミリー・サポート・センター」「学校のクラブ活動」は「1日」、「学童保育」は「5日」が最も多くなっています。なお、「放課後デイサービス」は「1日」「2日」が最も多くなっています。

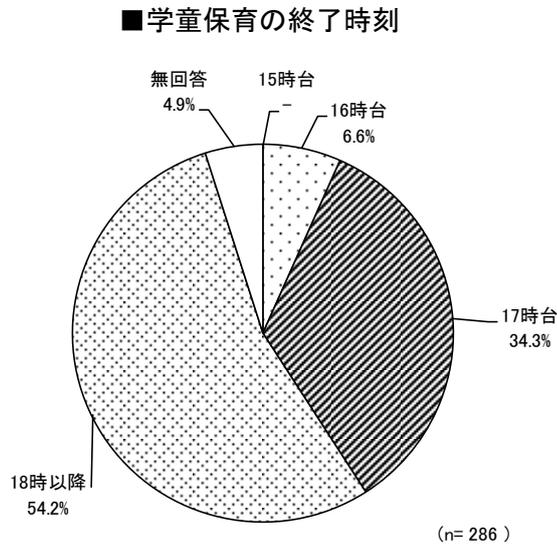
■ 過ごさせたい場所



【「5. 学童保育」に○をつけた方】

①学童保育の終了時刻

「18時以降」(54.2%)が最も多く、「17時台」(34.3%)、「16時台」(6.6%)となっています。

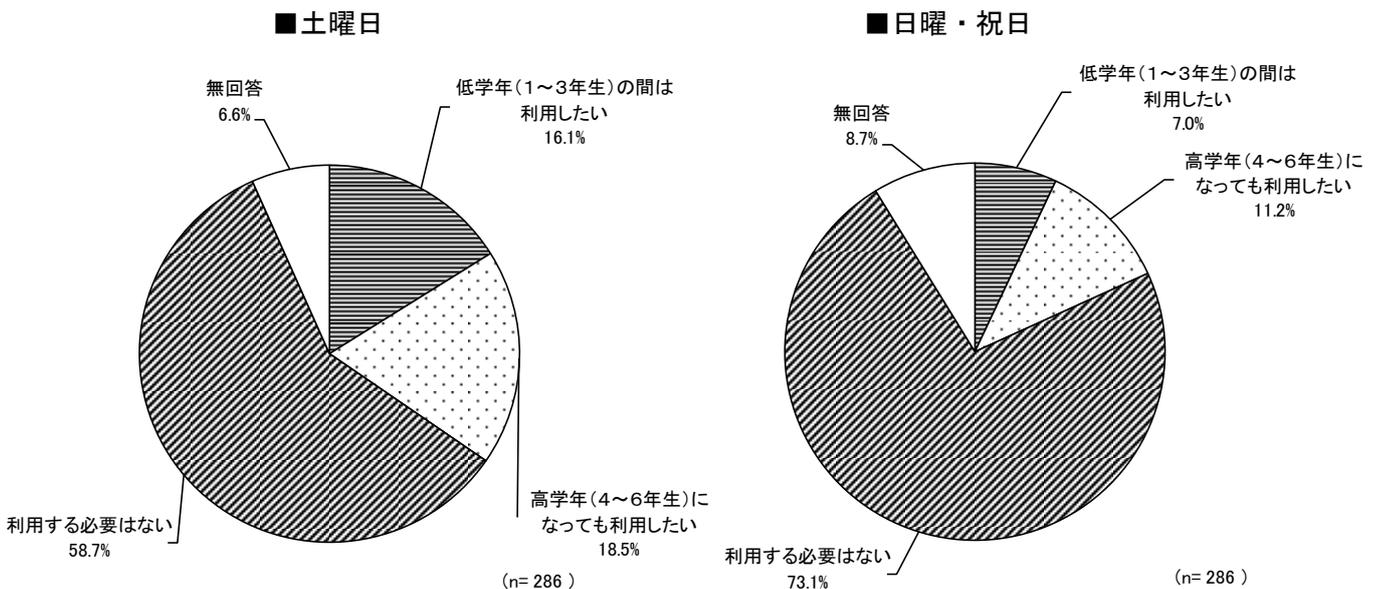


【問16で「5. 学童保育」に○をつけた方】

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

土曜日は、「利用する必要はない」(58.7%)が最も多く、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(18.5%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(16.1%)となっています。

日曜・祝日も「利用する必要はない」(73.1%)が最も多く、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(11.2%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(7.0%)となっています。

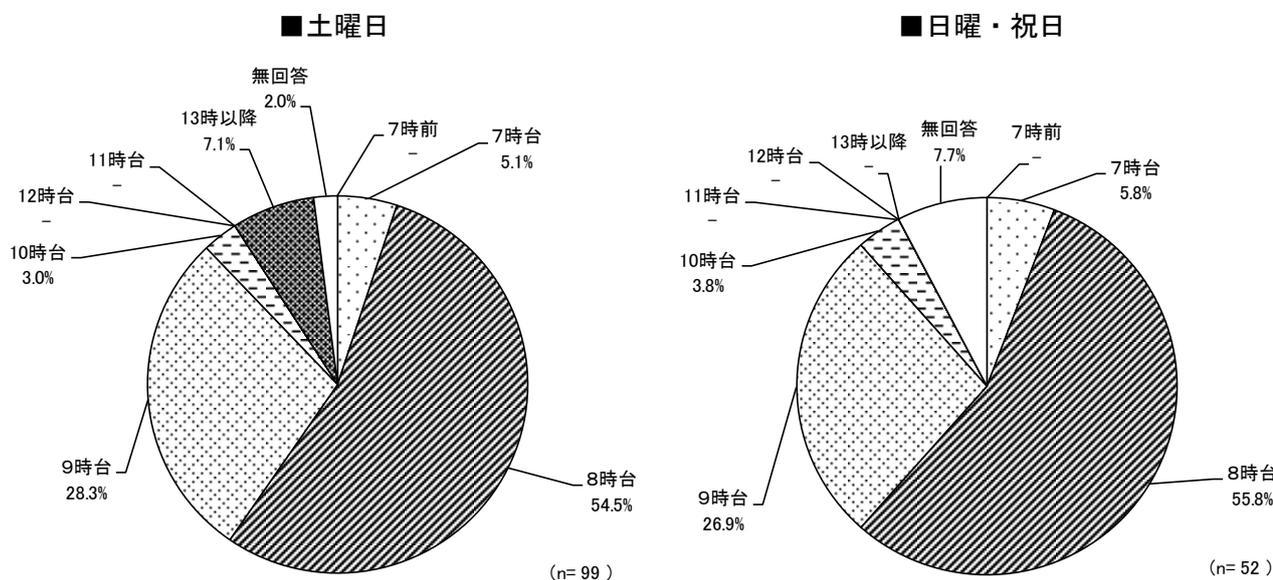


①利用したい時間帯

ア 開始時刻

土曜日は「8時台」(54.5%)が最も多く、「9時台」(28.3%)、「13時以降」(7.1%)と続きます。

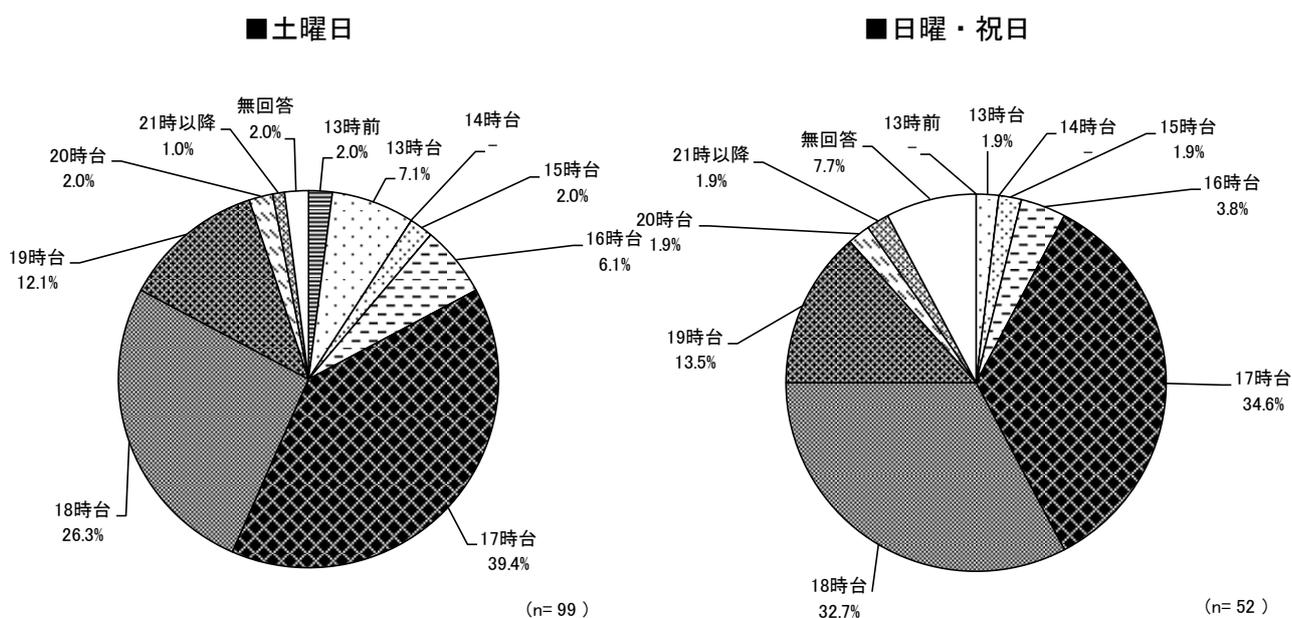
日曜・祝日も「8時台」(55.8%)が最も多く、「9時台」(26.9%)、「7時台」(5.8%)と続きます。



イ 終了時刻

土曜日は「17時台」(39.4%)が最も多く、「18時台」(26.3%)、「19時台」(12.1%)と続きます。

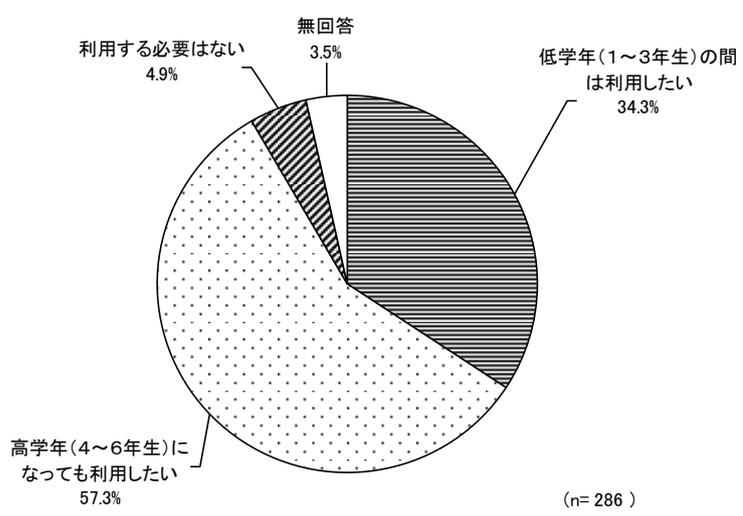
日曜・祝日も「17時台」(34.6%)が最も多く、「18時台」(32.7%)、「19時台」(13.5%)と続きます。



問 18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（57.3%）が最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（34.3%）、「利用する必要はない」（4.9%）となっています。

■夏休み・冬休みの学童保育利用希望



①利用したい時間帯

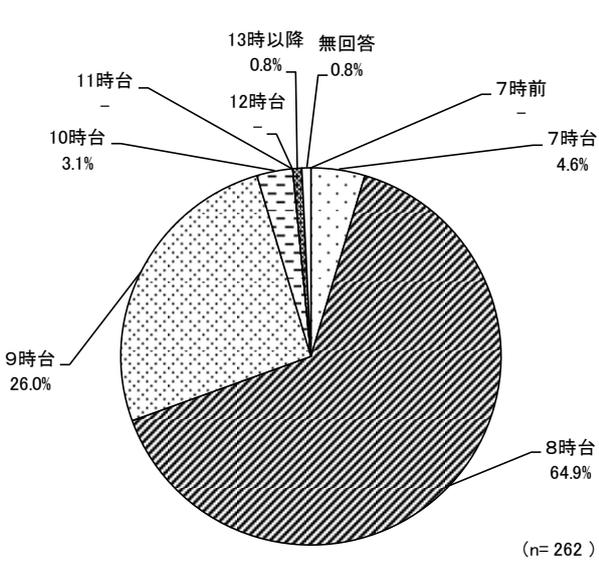
ア 開始時刻

「8時台」（64.9%）が最も多く、「9時台」（26.0%）、「7時台」（4.6%）と続きます。

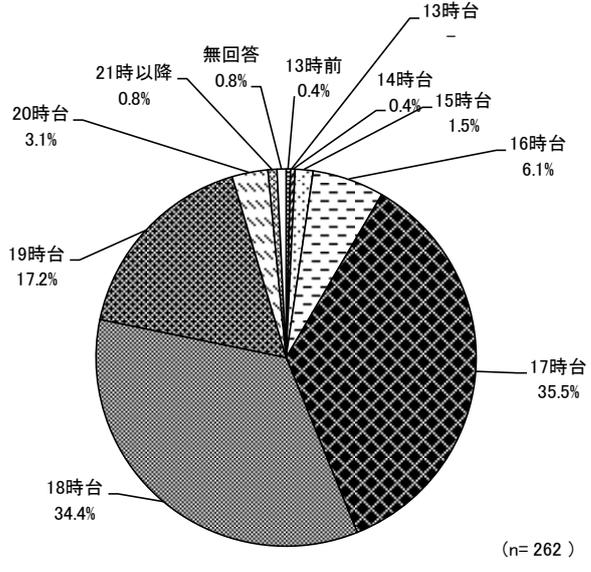
イ 終了時刻

「17時台」（35.5%）が最も多く、「18時台」（34.4%）、「19時台」（17.2%）と続きます。

■開始時刻



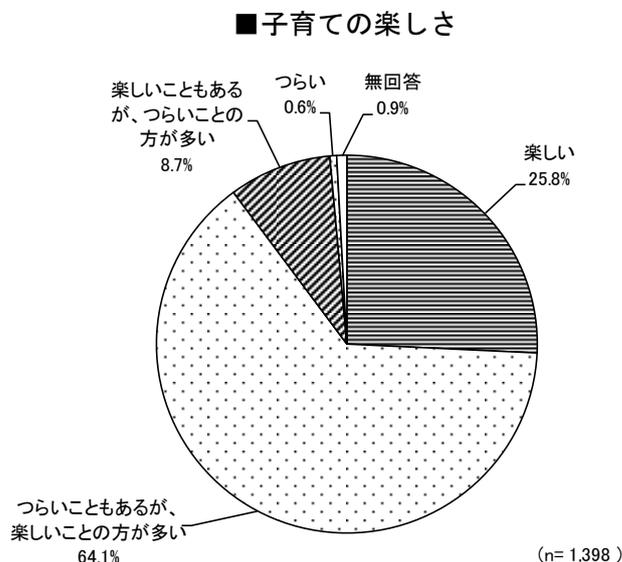
■終了時刻



(8) 子育て全般について

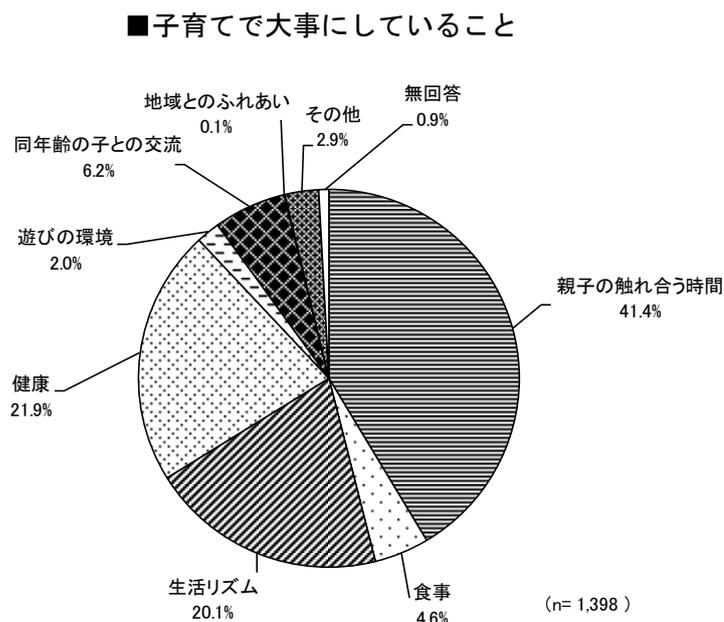
問 19 あなたは、子育てを楽しんでいると感じていますか。

「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」(64.1%)が最も多く、「楽しい」(25.8%)、「楽しいこともあるが、つらいことの方が多い」(8.7%)、「つらい」(0.6%)、「無回答」(0.9%)となっています。



問 20 現在、あなたが宛名のお子さんの子育てで一番大事にしていることは何ですか。

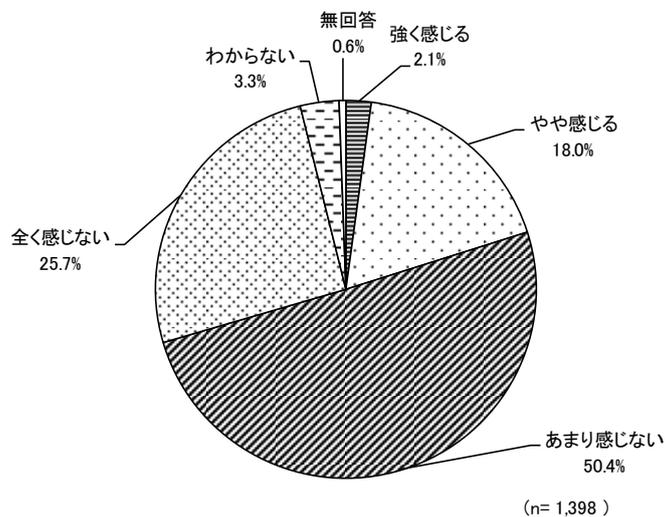
「親子の触れ合う時間」(41.4%)が最も多く、「健康」(21.9%)、「生活リズム」(20.1%)と続きます。



問 21 あなたは子育てに関して孤立感を感じていますか。

「あまり感じない」(50.4%)が最も多く、「全く感じない」(25.7%)、「やや感じる」(18.0%)と続きます。

■子育ての孤立感



【子育ての楽しさ別】

“楽しい”は「全く感じない」、「つらい」は「強く感じる」が最も多くなっています。

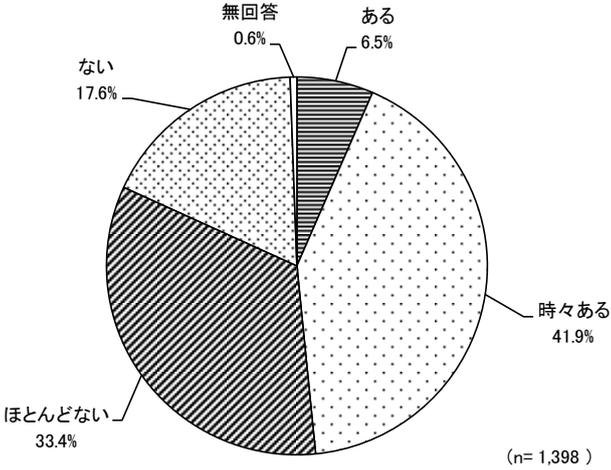
(単位: %)

	有効回答者数	強く感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	無回答
全体	1,398	2.1	18.0	50.4	25.7	3.3	0.6
楽しい	360	0.6	5.3	44.2	47.2	2.8	—
つらいこともあるが、楽しいことの方が多い	896	0.9	20.1	57.0	19.6	2.1	0.2
楽しいこともあるが、つらいことの方が多い	122	11.5	42.6	23.8	9.8	12.3	—
つらい	8	62.5	—	25.0	—	12.5	—

問 22 あなたはお子さんに対して、激しくたたいたり、激しくどなったりすることがありますか。

「時々ある」(41.9%)が最も多く、「ほとんどない」(33.4%)、「ない」(17.6%)、「ある」(6.5%)となっています。

■子どもを激しくたたいたり、どなったりすること



【年齢別】

“11歳”は「ほとんどない」、他の年齢では「時々ある」が最も多くなっています。

(単位: %)

	有効回答者数	ある	時々ある	ほとんどない	ない	無回答
全体	1,398	6.5	41.9	33.4	17.6	0.6
6歳	223	5.4	40.8	35.0	18.4	0.4
7歳	245	7.3	45.7	29.0	16.7	1.2
8歳	207	6.8	46.4	29.0	17.4	0.5
9歳	251	8.8	42.2	33.1	15.1	0.8
10歳	214	6.1	41.6	34.6	17.8	—
11歳	237	4.2	36.3	38.8	20.3	0.4

【子育ての孤立感別】

“強く感じる”は子どもを激しくたたいたり、激しくどなったりすることが「ある」「ときどきある」、「全く感じない」は「ほとんどない」が最も多くなっています。

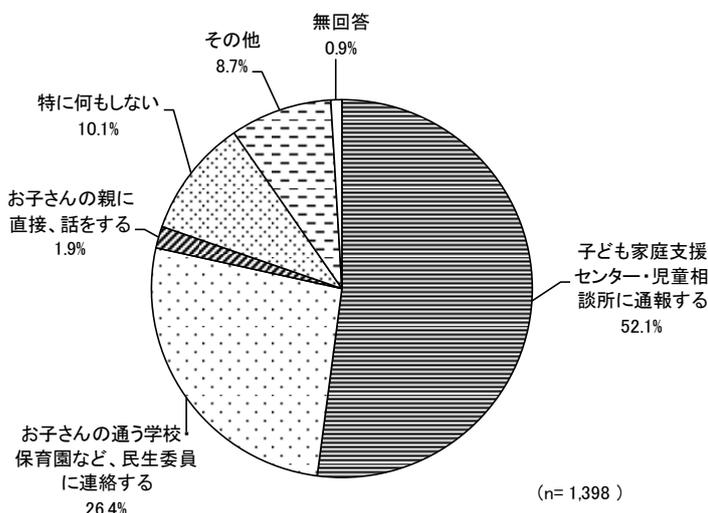
(単位: %)

	有効回答者数	ある	時々ある	ほとんどない	ない	無回答
全体	1,398	6.5	41.9	33.4	17.6	0.6
強く感じる	30	33.3	33.3	23.3	10.0	—
やや感じる	251	5.2	57.0	27.9	10.0	—
あまり感じない	704	6.3	42.6	36.6	14.3	0.1
全く感じない	359	4.7	30.4	34.3	30.1	0.6
わからない	46	15.2	47.8	17.4	19.6	—

問 23 あなたは、近所に虐待が疑われるお子さんがいたら、どう対応しますか。

「子ども家庭支援センター・児童相談所に通報する」(52.1%)が最も多く、「お子さんの通う学校・保育園など、民生委員に連絡する」(26.4%)、「特に何もしない」(10.1%)、「お子さんの親に直接、話をする」(1.9%)となっています。

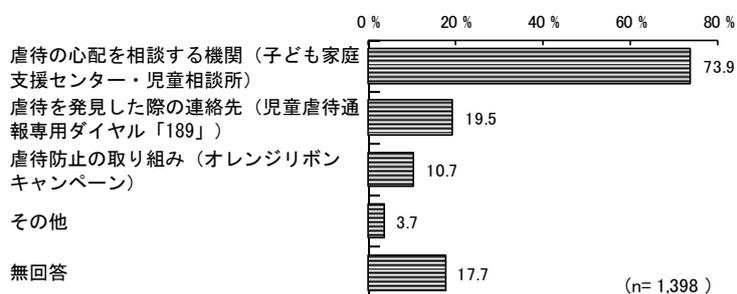
■虐待が疑われる子どもを発見した際の対応



問 24 あなたは児童虐待について知っていることがありますか。

「虐待の心配を相談する機関（子ども家庭支援センター・児童相談所）」(73.9%)が最も多く、「虐待を発見した際の連絡先（児童虐待通報専用ダイヤル「189」）」(19.5%)、「虐待防止の取り組み（オレンジリボンキャンペーン）」(10.7%)と続きます。

■児童虐待について知っていること（複数回答）



【経年比較】

前回調査と比べて、「虐待の心配を相談する機関（子ども家庭支援センター・児童相談所）」「虐待を発見した際の連絡先（児童虐待通報専用ダイヤル「189）」は多くなっています。

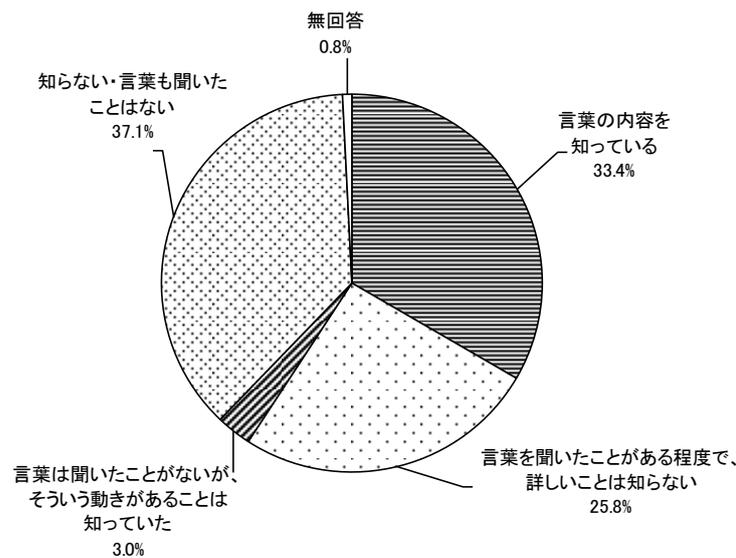
(単位:%)

	有効回答者数	虐待の心配を相談する機関(子ども家庭支援センター・児童相談所)	虐待を発見した際の連絡先(児童虐待通報専用ダイヤル「189」)	虐待防止の取り組み(オレンジリボンキャンペーン)	その他	無回答
今回(H30)	1,398	73.9	19.5	10.7	3.7	17.7
前回(H25)	1,155	62.2	11.8	8.1	6.1	27.0

問 25 「ワーク・ライフ・バランス」の理念の普及と実現が求められていますが、あなたは知っていますか。

「知らない・言葉も聞いたことはない」(37.1%)が最も多く、「言葉の内容を知っている」(33.4%)、「言葉を聞いたことがある程度で、詳しいことは知らない」(25.8%)と続きます。

■ワーク・ライフ・バランスの認知度



(n=1,398)

【経年比較】

前回調査と比べて、「知らない・言葉も聞いたことはない」が少なくなり、「言葉の内容を知っている」が多くなっています。

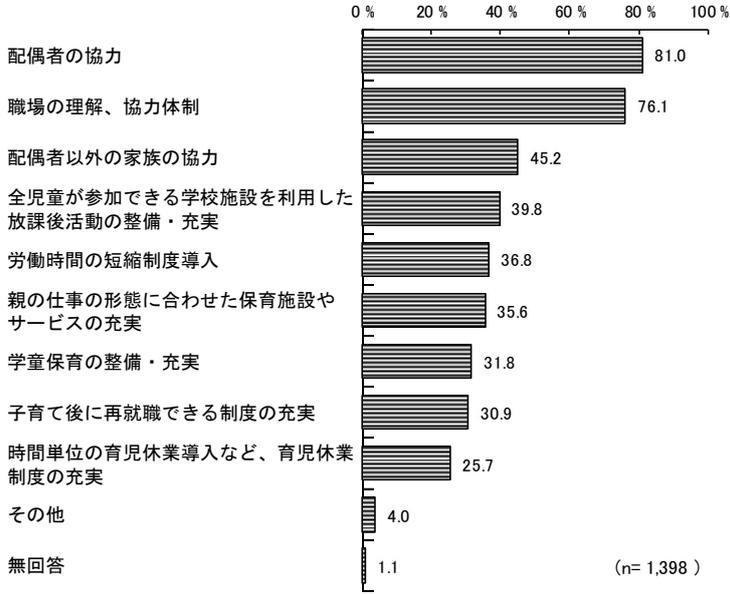
(単位:%)

	有効回答者数	言葉の内容を知っている	言葉を聞いたことがある程度で、詳しいことは知らない	言葉は聞いたことがないが、そういう動きがあることは知っていた	知らない・言葉も聞いたことはない	無回答
今回(H30)	1,398	33.4	25.8	3.0	37.1	0.8
前回(H25)	1,155	19.7	20.8	2.9	54.6	2.0

問 26 仕事と宛名のお子さんの子育てを両立させるためには何が必要と思われますか。

「配偶者の協力」(81.0%)が最も多く、「職場の理解、協力体制」(76.1%)、「配偶者以外の家族の協力」(45.2%)、「全児童が参加できる学校施設を利用した放課後活動の整備・充実」(39.8%)と続きます。

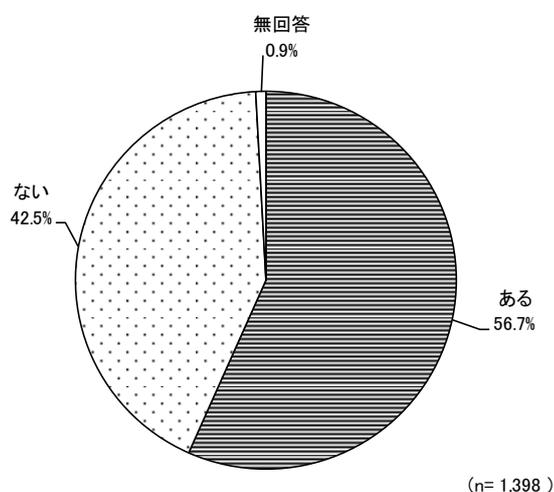
■仕事と子育ての両立のために必要なこと（複数回答）



問 27 あなたは、子育てについて心配なことや不安なこと、悩んでいることはありますか。

「ある」(56.7%)、「ない」(42.5%)となっています。

■子育てで心配なこと等の有無



【子育ての楽しさ別】

子育てが楽しくなるにつれて、「ある」が多くなっています。

(単位:%)

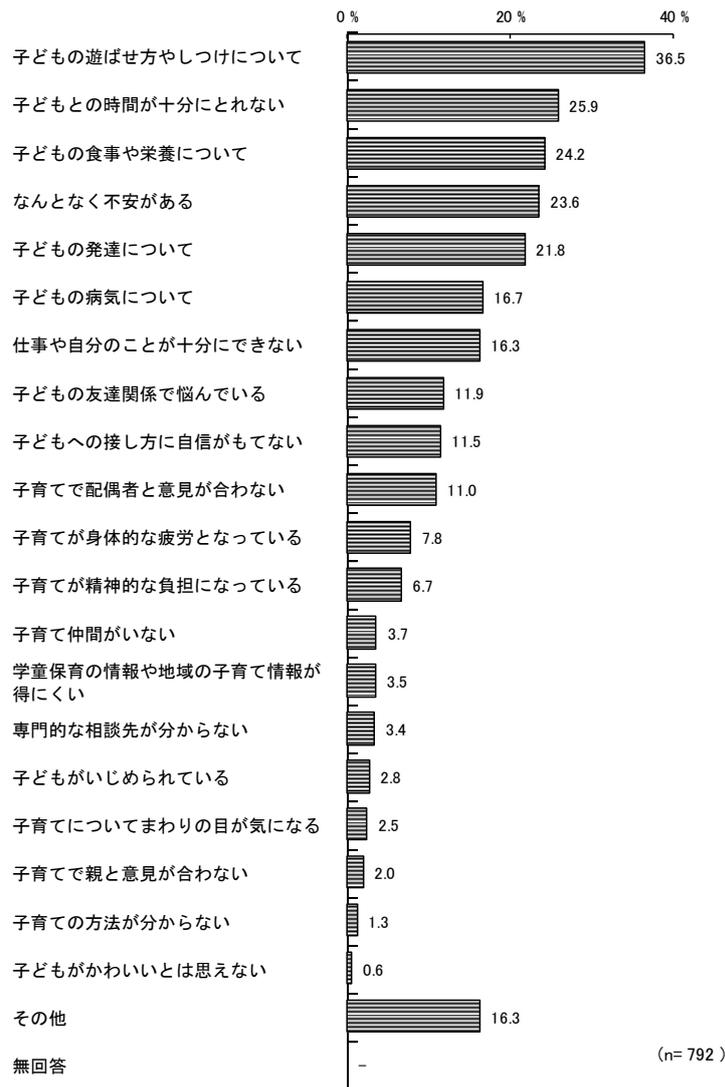
	有効回答者数	ある	ない	無回答
全体	1,398	56.7	42.5	0.9
楽しい	360	29.4	69.7	0.8
つらいこともあるが、楽しいことの方が多い	896	62.5	37.1	0.4
楽しいこともあるが、つらいことの方が多い	122	91.8	8.2	—
つらい	8	100.0	—	—

【問 27 で、「1. ある」に○をつけた方】

問 27-1 宛名のお子さんの子育てに関して心配なことや不安なこと、悩んでいることは何ですか。

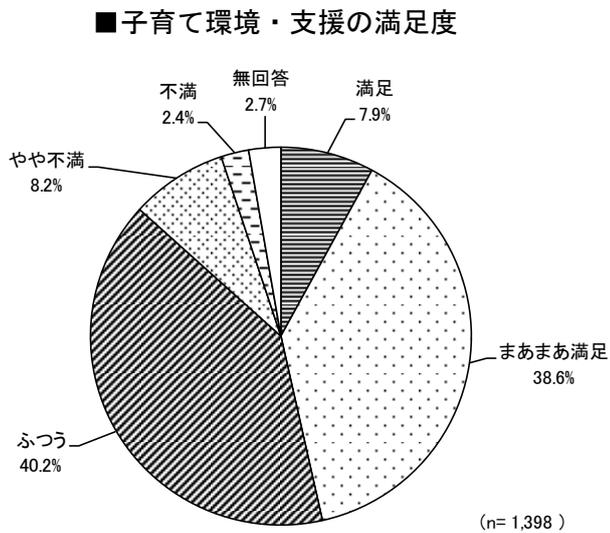
「子どもの遊ばせ方やしつけについて」(36.5%)が最も多く、「子どもとの時間が十分にとれない」(25.9%)、「子どもの食事や栄養について」(24.2%)、「なんとなく不安がある」(23.6%)、「子どもの発達について」(21.8%)続きます。

■子育てで心配なこと（5つまで）



問 28 大田区における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。

「ふつう」(40.2%)が最も多く、「まあまあ満足」(38.6%)、「やや不満」(8.2%)と続きます。



【経年比較】

前回調査とほぼ同じ割合となっています。

(単位: %)

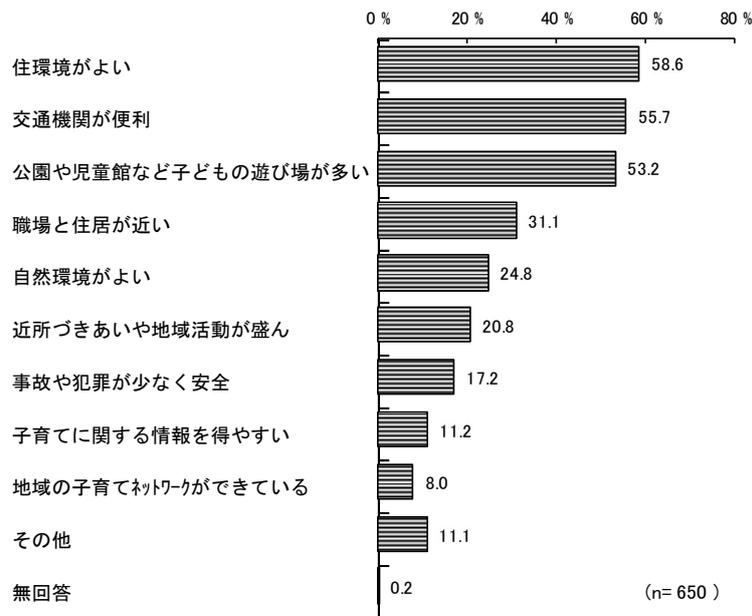
	有効回答者数	満足	まあまあ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
今回 (H30)	1,398	7.9	38.6	40.2	8.2	2.4	2.7
前回 (H25)	1,155	5.7	36.6	41.3	10.0	5.5	0.9

【問 28 で「1. 満足」または「2. まあまあ満足」に○をつけた方】

問 28-1 大田区における子育ての環境や支援で満足している点について、その理由は何ですか。

「住環境がよい」(58.6%)が最も多く、「交通機関が便利」(55.7%)、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(53.2%)と続きます。

■子育て環境・支援で満足している点（複数回答）



【地区別】

“大森地区” “調布地区” は「住環境がよい」、「蒲田地区」は「交通機関が便利」「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が最も多くなっています。

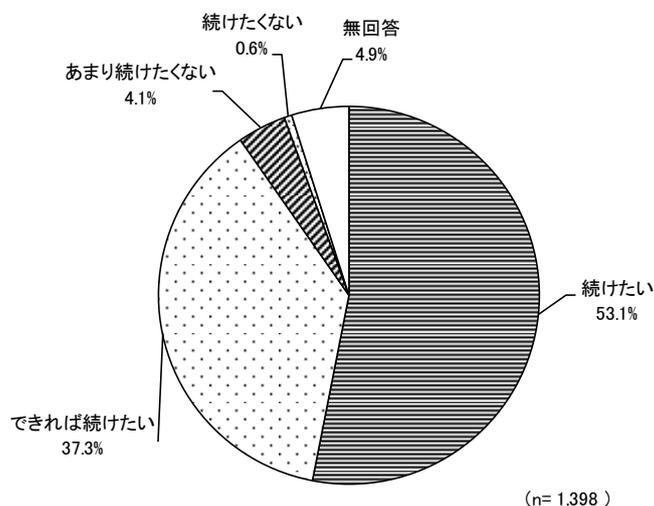
(単位: %)

	有効回答者数	住環境がよい	自然環境がよい	交通機関が便利	職場と住居が近い	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	近所づきあいや地域活動が盛ん	地域の子育てネットワークができています	子育てに関する情報を得やすい	事故や犯罪が少なく安全	その他	無回答
全体	650	58.6	24.8	55.7	31.1	53.2	20.8	8.0	11.2	17.2	11.1	0.2
大森地区	183	58.5	23.0	53.6	37.7	53.6	20.2	6.6	10.9	16.9	10.9	—
調布地区	196	78.1	32.7	54.6	22.4	50.5	18.9	9.2	9.2	29.6	9.7	—
蒲田地区	255	43.1	20.0	56.5	33.7	56.5	23.9	8.2	13.7	7.8	12.5	0.4

問 29 あなたは、今後も大田区で子育てを続けたいと思いますか。

「続けたい」(53.1%)が最も多く、「できれば続けたい」(37.3%)、「あまり続けたくない」(4.1%)、「続けたくない」(0.6%)となっています。

■今後の大田区での子育て意向



【子育ての孤立感別】

孤立感を強く感じるほど、大田区での子育てを続けたくないと思うが多くなる傾向があります。

(単位: %)

	有効回答者数	続けたい	できれば 続けたい	あまり 続けたくない	続けたくない	無回答
全体	1,398	53.1	37.3	4.1	0.6	4.9
強く感じる	30	23.3	26.7	30.0	10.0	10.0
やや感じる	251	34.3	53.0	7.2	0.8	4.8
あまり感じない	704	53.8	38.9	2.3	0.1	4.8
全く感じない	359	69.1	23.1	3.9	0.8	3.1
わからない	46	43.5	47.8	2.2	—	6.5

【子育て支援・環境への満足度別】

“満足” “まあまあ満足” は「続けたい」、「ふつう」 “やや不満” “不満” は「できれば続けたい」が最も多くなっています。

(単位: %)

	有効回答者数	続けたい	できれば 続けたい	あまり 続けたくない	続けたくない	無回答
全体	1,398	53.1	37.3	4.1	0.6	4.9
満足	111	90.1	8.1	—	—	1.8
まあまあ満足	539	64.2	29.9	1.3	—	4.6
ふつう	562	42.2	48.9	3.9	0.9	4.1
やや不満	115	27.0	48.7	17.4	0.9	6.1
不満	33	24.2	30.3	27.3	9.1	9.1

問 30 宛名のお子さんの子育てにあたって、今、あなたが望むサービス・取り組みは次の項目のうちどれですか。

「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的援助」(68.7%)が最も多く、「子どもが安心して遊べる公園づくりや活動しやすいまちづくり」(62.3%)、「仕事と子育てが両立しやすい環境整備」(44.4%)、「非行防止や環境浄化等、子どもが健全に育つための対策の充実」(37.4%)、「子どもの自立を促す教育の推進」(32.3%)と続きます。

■希望する子育て支援策（5つまで）

